

# JADA加盟団体 2022年度アンチ・ドーピング教育年間計画の策定について 【2021年度からの変更点】

2021年11月 日本アンチ・ドーピング機構



【本件に関するお問い合わせ先】  
教育部 教育グループ

E-mail: [JADA-Education@playtruejapan.org](mailto:JADA-Education@playtruejapan.org)

# 年間計画テンプレートの内容

## 2022年度 年間計画テンプレートの内容

0.	表紙	
1.	アンチ・ドーピング活動の体制	2021年度より変更が生じるもの
2.	【説明】教育担当者・教育活動者	
3.	実施計画 ※【記入例】あり	
4.	【説明】カテゴリー（パフォーマンスレベル）	
5.	計画時の提出物	
6.	報告時の提出物	
7.	実施報告書	
8.	研修会等の実施報告 ※【記入例】あり	
9.	アウトリーチ実施報告	
10.	教育担当者と教育活動者の活動	
11.	JADA提供教材配布先一覧	
12.	教材配布先一覧	

# 2022年度教育計画策定 提出内容とステップ



# 2021CODE/ISEに基づく 競技団体の役割

## ① 各団体における教育計画の策定

＜教育計画に含まれる要素＞

適切な対象層の洗い出しを行いその対象層へ

－何を目的として

－どのような教育アクティビティを

－いつのタイミングで実施し

－誰が(教育者)アクティビティを行うのか

## ② 教育計画の実施と自己評価

## ③ JADAとの計画・実施事項の共有

【教育計画の策定・実施・評価が責務となる団体】

公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)

日本パラリンピック委員会(JPC)

公益財団法人日本スポーツ協会(JSPO)

国内競技連盟(NF)

# 提出期限

- ① 日本スポーツ振興センター（**JSC**）のスポーツ振興くじ助成金（**toto 助成**）・スポーツ振興基金助成金の助成を申請する加盟団体（**NF**）の場合

交付申請書類とあわせ、「組織図（アンチ・ドーピング委員会が明示されているもの）」  
「最新のアンチ・ドーピング委員名簿」「**2022年度教育年間計画**」を、**JSCに直接提出**することが助成申請時には求められます。

**提出期限 それぞれの助成金申請時に併せて提出**

- ② ①に該当しない、**JADA**加盟団体（**NF**）の場合

**JADA**へ「**2022年度教育年間計画**」を提出いただきます

教育計画のフォーマットは、「**2022年度版**」を使用ください。  
**JADAのWEBサイトからダウンロード**ください

**提出期限 2022年1月14日（金）**

# 教育年間計画策定ステップ

2021年世界アンチ・ドーピング規程 & 教育に関する国際基準 (ISE)、アスリートActに即した  
教育目的・目標・教育ターゲット、教育計画の策定

## 1 教育目的 / Education Outcome

スポーツの価値を通して、社会的なインフルエンサー・発信者  
未来の社会を創るグローバルリーダーを育てる

Education Outcome 教育目的

Developing Life-Skills & Competencies 育てたい資質・能力

「教育」の目的：各対象別・達成レベル（大枠）・（対象別）

## 2 教育対象プール / Education Pool

日本のパフォーマンス区分 x 教育ターゲット割り出し  
教育対象プールの特定化  
教育対象プール以外のターゲット

## 3 教育目標 x 教育ターゲット / Education Objectives x Target

教育目標 x 各ターゲット別カリキュラム  
クリーンスポーツ教育（価値を基盤としたアンチ・ドーピング）  
における「11項目」に対する教育目標

## 4 教育計画 / Education Plan

教育の目的 - 教育を通じた長期目的: スポーツの価値を基盤と  
した社会のリーダーを育てる → 年間の教育目的、計画策定、  
モニタリング・評価

# 2022年度教育年間計画表策定のステップ対応表

2022年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 【記入例】

競技団体名	公益財団法人日本XX連盟		
種目名	YYY		
計画承認者	(役職)	事務局長	(氏名) XXX

計画作成日

教育の目的	教育プログラムを通して、学習者は、知識、スキルを養い、自信を持つことで、スポーツを生涯通して楽しむことができるのみならず、さらにソーシャルスキルとエモーションスキルを学び、ライフスキルとして人間性を向上させ続けることができる。それらを通して、自身で責任のある意思決定ができる。また、スポーツの価値・チカラを自身の生き方にどのように活かせるかを学び、スポーツの価値を通してより良い社会を創る行動ができる。教育プログラムを通して、将来にスポーツの価値を社会で体現していく人材が育ち、より良い社会を創ることができる。
2022年度の教育の達成目標	

1 教育目的

参照

ターゲットのカテゴリー	教育ターゲット	人数	IF-RTP/TP含む	JADA-RTP/TP含む	未成年を含む	ターゲットに関する備考	教育ターゲットにおける課題、ニーズ	教育アクティビティの種類	各教育アクティビティ教育目標 (アクティビティの終わりに達成させる、11のトピックスごとの目標)			教育実施者	アクティビティのタイムライン	実施場所	使用する教材	実施モニタリング項目	評価方法		JADAとの連携	メモ NOTE
									取り扱うトピックス	理解する(A)	実行する(B)	行進する(C)					定量	定性		
		2		12	0			1	1) クリーンスポーツに関する原則及び価値 2) 競技者、サポートスタッフの権利及び義務 3) 厳格責任の原則 4) ドーピングの結果 5) アンチ・ドーピング規則違反 6) 禁止表上の物質及び方法 7) サポートメント使用のリスク				JADA講師	2022年10月Y日 XX:XX (～)	XXXXXXホテル (北海道)	・ワークブック ・ガイドブック (NLA準拠)	・ワークショップ 参加人数 ・参加者アンケート ・教育実施	●研修会参加 率 ●教育実施者 からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業)	ケーススタディを用いたワークショップとする 強化担当サポート

2 パフォーマンス層

「ステップ2-1：教育ターゲットの入力」  
「ステップ2-2：教育ターゲット詳細の入力」  
参照

2 パフォーマンス層

3 Education Curriculum

「ステップ3-1：各教育ターゲットに対するアクティビティの設定」  
参照

2 パフォーマンス層

3 Education Curriculum

「ステップ3-2：各アクティビティに対する教育目標の設定」  
参照

4 教育計画

「ステップ4-1：教育実施者の選定」  
参照

「教育アクティビティ実施におけるJADAのサポート」  
「教育マテリアル覧（資料ダウンロードページ掲載）」  
参照

4 教育計画

「モニタリング、評価方法の設定」  
参照

「教育アクティビティ実施におけるJADAのサポート」  
参照

「2022年度教育実施計画表」





## 教育目的の確認

1

### 教育目的 / Education Outcome

スポーツの価値を通して、社会的なインフルエンサー・発信者  
未来の社会を創るグローバルリーダーを育てる

<b>Education Outcome</b> 教育目的
-------------------------------

<b>Developing Life-Skills &amp; Competencies</b> 育てたい資質・能力
--

「教育」の目的：各対象別・達成レベル（大枠）・（対象別）
------------------------------

# 2022年度教育年間計画表策定のステップ対応表

2022年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 [記入例]

組織団体名	公益財団法人日本XX連盟			
種目名	YYY			
計画承認者	(役職)	事務局長	(氏名)	XXX

計画作成日

教育の目的	教育プログラムの通して、学習者は、知識、スキルを高い、自信を持つことで、スポーツを「楽しむ」ことができるのみならず、さらにコンプライアンス的なスポーツマンシップを伸ばし、ライフスタイルを定めて人間性を高めようとする。それを通して、社会で責任のある意思決定ができる。また、スポーツの価値やスポーツを自身の生活にどのように活かせるかを学び、スポーツの価値を通してより良い社会を創る行動ができる。教育プログラムの通して、将来的にスポーツの価値を社会で認識し、より良い社会を創ることが出来る。
2022年度の教育の達成目標	

1

教育目的

参照

ターゲットの カテゴリー	教育ターゲット	人数	IF- RTP/T P 含む	JADA- RTP/T P 含む	未成年 を含む	ターゲットに 関する 備考	教育ターゲットに おける課題、ニーズ	教育 アクティビティ の種類	各教育アクティビティ教育目標 (アクティビティの表にも別に記載される。1109年次表との対応)				教育実施者	アクティ ビティ のタイム ライン	実施場所	使用する教材	実施モニタ リング 項目	評価方法		JADA との連携	JFE NOTE	
									各教育アクティビティの教育目標									達成 する 率 (%)	達成 する 日			評価 する 日
									教育目標	達成 する 率 (%)	達成 する 日	評価 する 日										
強化対象選手 および そのサポート スタッフ	強化指定A	20	2	12	0	世界選手権 入賞 または IFポイント ● 以上	- 前回研修会を受 けているアスリート が多い  - 2月の世界選手 権に派遣される可 能性があるアスリ トがいるため、改定 後の禁止表につい ての情報提供が必 要	1 対面式ワーク ショップ (研 修)	1) グリーンボードに関する理解及び確認 2) 競技者、サポートスタッフの権利及び義務 3) 競技者の権利 4) トレーニングの計画 5) アンチ・ドーピング教育の重要性 6) 禁止薬物の種類及び方法 7) サポートスタッフの役割 8) 薬物の使用及び治療の重要性 9) 薬物の使用及び治療の重要性 10) 薬物の使用及び治療の重要性 11) 薬物の使用及び治療の重要性 12) 薬物の使用及び治療の重要性	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	JADA講師	2022年 10月Y日 XX:XX ~	XXXXXX (JFE本部)	- フィットブック (N/A以上)	- ワークショ ップ 参加人数 - 参加者アン ケート - 教育実施 者からの フィードバック	● 研修会参加 率	● 教育実施者 からのフィードバ ック ● 参加者アン ケート	JADA講師派 遣 (委託事 業)	コースタディを用い たワークショップと 強化担当サポート スタッフも同席	
								2 FAIR PRIDE エラン						2022年 9月Y日 まで	-	-	-	-	-	-	-	-

P11-12に記載されたISEの教育目標を参考に、貴団体(及びIF)の方針も踏まえながら、黄色の枠に「教育の目的」「2022年度における達成目標」を入力してください。

「2022年度教育年間計画表」

# 1 Education Outcome

## 2021Code/ISEに基づく「教育」の目的・アウトカム

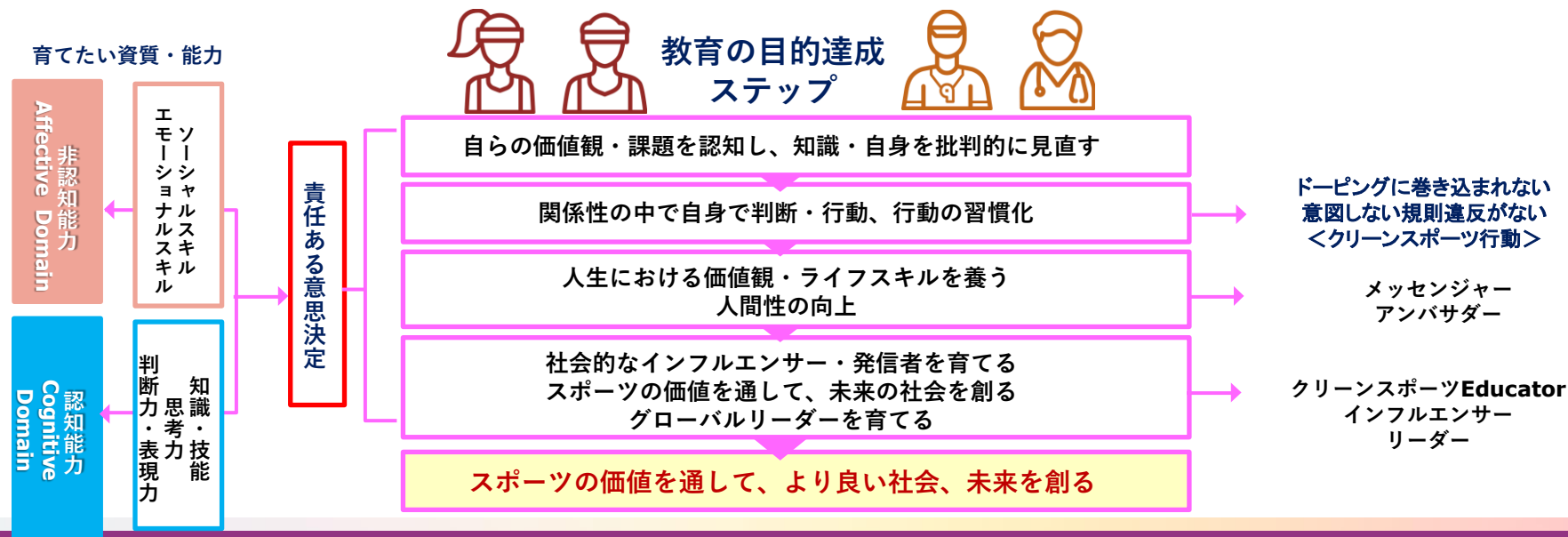
スポーツの価値を通して、より良い社会・未来を創る

Clean Sport, Fairness Education Curriculum, JAPAN: Developing Humanity and Life-skills and Competencies

教育プログラムを通して、学習者は、知識、スキルを養い、自信を持つことで、スポーツを生涯通して楽しむことができるのみならず、さらにソーシャルスキルとエモショナルスキルを学び、ライフスキルそして人間性を向上させ続けることができる。

それらを通して、自身で責任のある意思決定ができる。

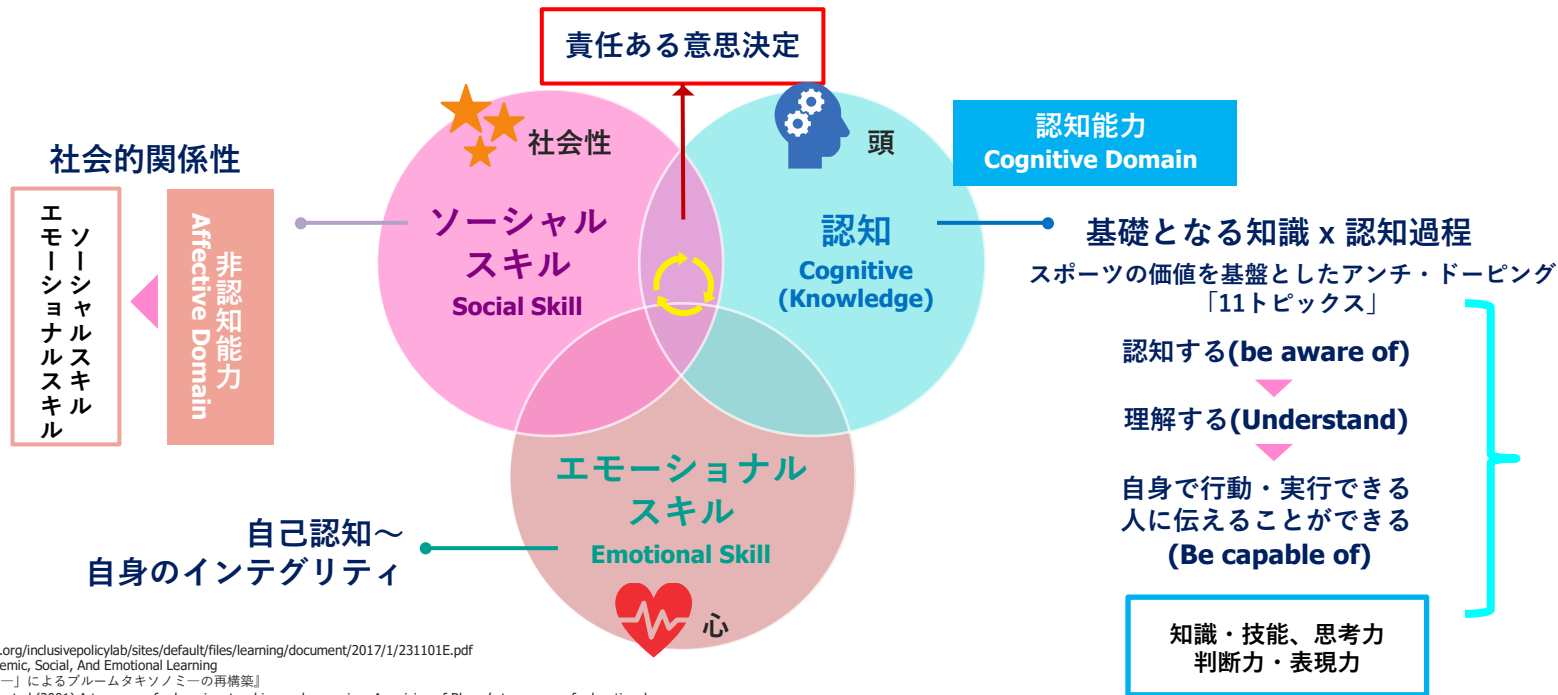
また、スポーツの価値・チカラを自身の生き方にどのように活かせるかを学び、スポーツの価値を通してより良い社会を創る行動ができる。  
教育プログラムを通して、将来的にスポーツの価値を社会で体現していく人材が育ち、より良い社会を創ることができる。



# 「教育」の目的—育てたい資質・能力 Education Outcomes

Developing Humanity, Life-skills and Competencies

各個人の責任ある意志決定を促し、ライフスキルを養うための、育てたい資質・能力（コンピテンシー）の基盤となる  
「認知能力」と「非認知能力」の考え方



UNESCO (2015) <https://en.unesco.org/inclusivepolicy/sites/default/files/learning/document/2017/1/231101E.pdf>

CASL (2017) Collaborative for Academic, Social, And Emotional Learning

石井 (2002) 『「改訂版タキノミー」によるブルームタキノミーの再構築』

Anderson, L. W. & Krathwohl, D.R., et al (2001) A taxonomy for learning, teaching and assessing: A revision of Bloom's taxonomy of educational objectives. New York: Longman

# 教育のターゲットの設定

## 2 教育対象プール / Education Pool

日本のパフォーマンス区分 x 教育ターゲット割り出し  
教育対象プールの特定化  
教育対象プール以外のターゲット

# 2022年度教育年間計画表策定のステップ対応表

## ステップ2-1：教育ターゲットの入力 ステップ2-2：教育ターゲット詳細の入力

2022年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 【記入例】

競技団体名	公益財団法人日本XX連盟		
種目名	YYY		
計画承認者	(役職)	事務局長	(氏名) XXX

教育の目的	教育プログラムを通して、学習者は、知識、スキルを養い、自信を持つことで、スポーツを生涯を通して楽しむことができるのみならず、そのパフォーマンススキルとエモーショナルスキルを受け、ライフスキルとして人間性を向上させることができる。 それらを通して、自身で責任のある意思決定ができる。 また、スポーツの価値・チカラを自身の生き方などに活かせることを学び、スポーツの価値を通してより良い社会を創る行動ができる。 教育プログラムを通して、何事にもスポーツの価値を社会で実践していく人材が育ち、より良い社会を創ることができる。
2022年度の教育の達成目標	

ターゲットのカテゴリ	教育ターゲット	人数	IF-RTP/T/P 含む	JADA-RTP/T/P 含む	未成年を含む	ターゲットに関する備考	教育ターゲットにおける留意点、ニーズ	教育アクティビティの種類	各教育アクティビティ教育目標 (7つのアクティビティの組み合わせ、11のトピックスごとの目標)			教育実施者 の人数 (10人以上)	アクティビティのタイムライン	実施場所	使用する教材	実施モニタリング項目	評価方法		JADAとの連携	メモ NOTE			
									実施目標(2)の項目) 反社会的犯罪防止								実施する回数 (10回以上)	実施する人数 (60人以上)			実施する性別 (男女別)	定量	定性
									取り扱うトピックス														
強化対象選手およびそのサポート	強化指定	20	2	12	0	世界選手権入賞またはIFポイント以上	・前年度もAD研修会を受けているアスリートが多数  ・2月の世界選手権に派遣される可能性のあるアスリートもいるため、改定後の禁止表についての情報提供が必要  ・自身で行動するアスリートが少ない	対面式ワークショップ(研修)	1) グリーンスポーツに関する原則及び価値	●	●	JADA講師	2022年10月YE XX;XX ～	YYYYYY (10会場)	・ガイドブック(NLA以上)	・ワークショップ 参加人数 ・参加者アンケート ・教育実施者からのフィードバック	●研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣(委託事業)  教材提供	ケーススタディを用いたワークショップと強化旧当サポートスタッフも同席			
									2) 競技者、サポートスタッフの権利及び義務	●	●												
									3) 職務責任の原則	●	●												
									4) トレーニングの結果	●	●												
									5) アンチドーピング規則違反	●	●												
									6) 禁止表上の物質及び方法	●	●												
									7) サプリメント使用のリスク	●	●												
									8) 薬の使用及び治療使用例	●	●												
									9) 尿、血液及びアスリートバイオパズル・パスポートを	●	●												
									10) 現場所消費とRTP	●	●												
									11) 検査結果の報告とATP	●	●												
									12) 検査結果の報告とATP	●	●												
								FAIR PRIDEエラン				2022年9月未だ				・E5N受講人数	●E5N受講率			強化合宿での対面式ワークショップでの研修会を追加し、強化合宿参加要件とする			
								JADAウェビナー	2023年禁止表				2022年12月20日まで			・Webinar視聴者人数 ・TUE申請状況	●ウェビナー受講率	●TUE申請が必要とする場合TUEの申請不備の有無					

2

パフォーマンス層

「ステップ2-1：教育  
ターゲットの入力」

「ステップ2-2：教育  
ターゲット詳細の入力」

参照

P15-17を参考に、国内全体の教育ターゲットと、NF教育責任範囲をご確認ください。

「2022年度教育年間計画表」

# Education Target

4/4

## 教育対象となるすべてが「教育ターゲット」 → そこから「教育対象プール」を設定 各ターゲットグループへの責務を持つ管轄組織

アンチ・ドーピング区分*		JPN FTEM フレーム ワーク	Performance Level			JOC/JPC強化指定		NF エージ NFカテゴリー	他Non-NF 管轄外	SUPPORT STAFF カテゴリー				
居場所 情報提出	アスリート 区分		シニア	大学年代	年代別 Junior, Youth, Cadet	JOC カテゴリー	JPC カテゴリー			JOC	JPC			NF
↑ IF-RT ↓ JADA - RTP ↑ JAD A-TP	National-Level Athletes: 国際レベルの競技者 (IF所属) 国内レベルの競技者 (JADA所属)	Team JAPAN 国内トップ 国内レベル	Mastery	オリンピック/パラリンピック IF国際競技大会 - 複数メダリスト						ナショナル コーチ等 (63名) 専任コーチング ディレクター (206名) 専任専任 メディカル /情報・科学 (70名) 強化スタッフ (4382名) 各派遣団 スタッフ  *2021年度の公表数	JPC専任 スタッフ  強化 スタッフ  各派遣団 スタッフ			
			E3	オリンピックメダリスト入賞者										
			E2	オリンピック入賞を目指すレベル オリンピック出場者	*JOC/JPC 派遣									
			E1	アジア大会・アジアパラメダリスト アジア大会・アジアパラ出場者	YOGメダリスト YOG出場者 アジアパラアスリート出場者	オリンピック強化指定 (1668名)	強化指定 エリートA エリートB							
			T4	IFのトップ大会・ 国際競技大会 - 出場者 シニア強化指定選手	Uni. Games メダリスト Uni. Games 代表 年代別国際大会 - 出場者 年代別強化指定選手/ ユースエリート									
			T3	全日本選手権 - メダリスト	大学選手権 メダリスト									
				全日本選手権 - 入賞者	大学選手権 出場者									
				全日本選手権 - 出場者	大学選手権 出場者									
				国体 - メダリスト(成年・少年)										
				国体 - 出場者(成年・少年)										
↑ JADA - RTP ↓ JAD A-TP	Recreational Athletes: 国内レベルの競技者 (JADA所属)	リクリエーション ショナル	T2	国体ブロック大会 - 出場者	全国高校選手権 - メダリスト					プライベート クラブ 道場 (水泳クラブetc)				
			T2	各種NF主催の大会 - 出場者	全国高校選手権 - 出場者									
			T1		外レント発掘一選抜者									
			T1	マスターズ出場者	外レント発掘参加者									
			F3		高校選抜地区予選出場 全中 - 出場者									
			F2		学校部活 - 各種大会出場者									
*各種定義			F1	スポーツ愛好家	学校全般、学校部活動									
			F1	一般	地域スポーツクラブ (総合型) 学校全般									

教育対象プール

**ISEに基づく望ましい  
クリーンスポーツ教育パスウェイ**  
スポーツの価値×アンチ・ドーピング教育

JAPAN SPORT  
COUNCIL



公益財団法人 日本アンチドーピング機構  
JADA

“ Team JAPAN ”

\* 制裁からの復帰者

「クリーンスポーツ教育の権限」、連携促進 (ISE, 7.2.1)  
直接教育実施・プライオリティNF含  
教育者人材育成・システム構築サポート・モニタリング・評価  
アンチ・ドーピングのマトリアル・情報提供範囲  
スポーツの価値を基盤とした教育「クリーン・フェアスポーツ環境整備のための教育」  
マトリアル配信・キャンペーン

公益財団法人 日本アンチドーピング機構  
JADA



\* アスリートはNFに所属するが、「プロ」リーグ/選手への包括的なアプローチ

大学アスリートと大学



TID, J-STAR

JAPAN SPORT COUNCIL JSPO

JSC×県 JSPO



高校総体・インターハイ、選抜

全国中学体育大会

学校保健体育：スポーツの価値を基盤とした教育、「道徳」「総合」クロスカリキュラムと部活動

- ・ 居場所情報提出アスリート (RTP/TP)\*
- ・ 公的資金受給者 (JSCアスリート助成)
- ・ 総合競技大会派遣者：選手、サポートスタッフ
- ・ JOC/JPC強化指定：選手、強化コーチ、強化スタッフ
- ・ アカデミー：エリートアカデミー選手、コーチ、サポートスタッフ
- ・ ハイパフォーマンス関連スタッフ

NF

ユースアスリートとサポートスタッフ、Non-RTP/TPシニア

- ・ 各NF類型の年代別育成システム：ユース/Jr.選手、サポートスタッフ
- ・ 強化・派遣選手、帯同スタッフ
- ・ 居場所情報提出外のシニア(上記以外)：選手、サポートスタッフ
- ・ 親

国体出場者、サポートスタッフ

- ・ 「成年」「少年」－選手決定前の要件
- ・ 各派遣県の帯同スタッフ、コーチ、教員
- ・ 親

少年団

教育対象プール：Education Pool

する・みる・支える・創る



# 教育対象プールの設定と各スポーツ団体の教育責任範囲（簡略版）

**JOC/JPC**はオリンピック・パラリンピック大会など**日本代表**として**国際大会派遣**及び**JOC/JPC強化指定**において、**JSPO**は**国体**において、**NF**は**全日本選手権**、**その他NF管轄大会・リーグ**、**国際大会派遣**及び**NF強化指定**に対して、アスリート及びサポートスタッフ等に、教育目的・教育目標に即した適切な教育を行う責任がある。

	大会派遣・大会開催主体			強化指定		IF_RTP	RTP	TP
	JOC/JPC	NF	JSPO	JOC/JPC	NF	IF/NF	JADA	
教育対象プール	競技者/サポートスタッフ							
	オリ/パラ大会出場	✓		✓	✓	✓	✓	✓
	アジア/アジアパラ大会出場	✓		✓	✓	✓	✓	✓
	その他国際大会出場	✓		✓	✓	✓	✓	✓
	年代別国際大会出場	✓			✓			✓
	国内最高レベル競技会出場							
	全日本選手権出場	ユニバーシアード			✓			✓
	国体出場		✓					
	大学選手権出場							
	インターハイ出場							
	全国中学校体育大会出場							
学校教育（中・高校・大学）								

# 2022年度教育年間計画表

## ステップ2-1: 教育ターゲットの入力



## ステップ2-2: 教育ターゲット詳細の入力

ターゲットの カテゴリ	教育ターゲット	人数	F- RTP/TP 含む	JADA- RTP/TP 含む	未成年 を含む	ターゲットに 関する 備考	2022年度教育ター ゲットにおける課 題、ニーズ	教育 アクティビティ の種類	各 (アクティビティの 詳細) ※対応 取り
1. 国際競技連 盟 (IF) 主催国 際競技大会への 派遣アスリート ※年代別含む	U-18 国際 XXXX大会 派遣アスリート	15	-	-	15	大会開催 2022年8月XX日 ～8月YY日 (ロンドン/イギリ ス)	・初めて国際大会 に派遣されるアス リートが多いため、アン チ・ドーピングの基 礎的なルールの再 確認が必要となる  ・次回オリンピックを 目指すアスリートが 出場することから、 スポーツの価値の発 信についても意識づ けが必要	1 対面式 ワークショップ  2 動画撮影 SNS投稿  3	1) クリーンスポーツに 関する教育 2) 競技者、サポーター に対する教育 3) 厳格責任の原則 4) ドーピングの結果 5) アンチ・ドーピング 6) 禁止薬物の物質 7) サリメント使用の 8) 薬の使用及び治療 11) ドーピングに 関する教育

「2022年度教育年間計画表」

P19-21を参考に、黄色の枠にNFの教育ターゲットとその詳細を入力してください

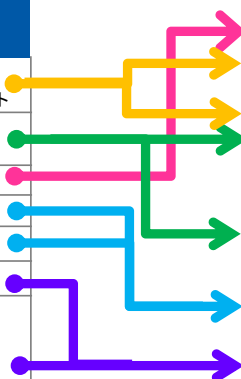
## ステップ2-1: 教育ターゲットの入力

⇒これまでの年間計画上でのターゲットカテゴリから、ISEに基づくターゲットの組替えと、各NFの強化・育成プログラムに沿った明示的なカテゴリ分けが必要

【2021年度版までの年間計画でのカテゴリー】

カテゴリ (パフォーマンスレベル)	JADA検査 (ドーピングコントロール対象)	JSC アスリート育成パスウェイ (参考)
エリート	RTP TP	MPA (Medal Potential Athletes) メダル獲得の潜在力を有するアスリート
パフォーマンス	ドーピングコントロール対象 大会に出場するアスリート	トップアスリート 強化アスリート 育成アスリート
タレント	予備軍	ナショナルタレント 地域タレント
ビギナー	予備軍	未知のタレント

組替えのイメージ



【2022年度年間計画におけるカテゴリー】

アスリートとそれに対応するサポートスタッフ

I. 強化対象
II. IF主催国際競技大会への派遣 ※年代別含む
III. 「国内最高レベルの競技会」への参加
IV. 育成対象
V. その他のターゲット

上記は一例として記載しています。

競技団体により各カテゴリに該当するアスリート層/パフォーマンス層が異なる場合は、上記に合わせる必要はありません。適宜ターゲットの記載をお願いします。

## ステップ2-2: 教育ターゲット詳細の入力

⇒ ターゲットへの教育アクティビティの内容、時期、評価を検討するための詳細な情報の整理

人数が分かる場合は書き込む  
具体的な人数が不明な場合は、☒を入れる

大会期間等

アクティビティの内容設定、  
時期、評価のための  
具体的な情報

ターゲットの カテゴリー	教育ターゲット	総人数	IF-RTP 含む (人)	JADA-RTP 含む (人)	未成年 含む (人)	ターゲットに 関する備考	教育ターゲットにおける課題、 ニーズ
II. IF主催国際競技 大会への派遣  ※年代別含む	XXXX大会 派遣アスリート	15	—	—	✓	※大会開催  2022年X月XX日～X 月YY日 (東京/日本)	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めて派遣されるアスリートが多いため、アンチ・ドーピングの基礎的なルールの再確認が必要となる</li> <li>今後オリンピックを目指すアスリートが出場することから、スポーツの価値と自信の価値観との紐付けの発信についても意識づけが必要</li> </ul>
	●●●大会 派遣アスリート	10	—	3	—	2023年1月XX日～X 月YY日 (ロンドン/イギリス)	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度もAD研修会を受けているアスリートが多数</li> <li>理解度はバラバラ・測れていない</li> <li>禁止表が改定されてすぐの研修会の為、注意喚起が必要</li> </ul>

「2022年度教育年間計画表」

# ターゲットにおける「課題・ニーズ」設定のポイント

- ◆ 各個人の責任ある意志決定を促し、ライフスキルを養うための、育てたい資質・能力（コンピテンシー）の基盤となる「認知能力」と「非認知能力」の考え方が重要

→ 知識（認知能力）や思考力のみならず、  
各個人々のフェアでクリーンなスポーツに向かう態度・考え方の醸成  
個人の価値観の醸成 をいかに行っていくかを前提に「課題・ニーズ」を設定すること

『教育の目的達成ステップ』、『「教育目的」【育てたい資質・能力】』  
のページ（P11）を確認

# 各ターゲットへの教育目標の設定

### 3 教育目標 x 教育ターゲット / Education Objectives x Target

教育目標 x 各ターゲット別カリキュラム  
クリーンスポーツ教育（価値を基盤としたアンチ・ドーピング）  
における「11項目」に対する教育目標

# 2022年度教育年間計画表策定のステップ対応表

## ステップ3-1： 各教育ターゲットに対する アクティビティの設定

### ステップ3-2： 各アクティビティに対する教育目標の設定

「2022年度教育年間計画表」

2022年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 [記入例]

館校団体名	公益財団法人日本XX連盟		
欄頁名	YYY		
計画承認者	(役職)	事務局長	(氏名) XXX

教育の目的	<p>教育プログラムを通して、学習者は、知識、スキルを養い、自信を持つことで、スポーツを生涯通して楽しむことができるのみならず、さらにフットサルスキルとエモーションスキルを学び、ライセンスを取得して人間性を向上させ続けることができる。</p> <p>それを通して、自己で意思決定や自己決定ができる。</p> <p>また、スポーツの価値・サカサを自身の生きかたのように活かせるかを学び、スポーツの価値を通してより良い社会を創る行動ができる。</p> <p>教育プログラムを通して、将来的にスポーツの価値を社会で体現している人材が育ち、より良い社会を創ることができる。</p>
2022年度の教育の達成目標	

ターゲットのカテゴリ	教育ターゲット	人数	IR-RT/PTを含む	JADA-RT/PTを含む	未実施を含む	ターゲットに属する備考	教育ターゲットにおける経験、ニーズ	教育アクティビティの種類	各教育アクティビティ教育目標 (アクティビティの終わりに達成させる、11のボックスごとの目標)					教育実施者	アクティビティのホームライン	実施場所	使用する教材	実施モニタリング項目	評価方法		JADAとの連携	メモ NOTE								
									取得すべきスキル										達成率 (%)	参加する 人数 (人)			参加する チーム (チーム数)	評価する 項目 (項目数)	定量	定性				
									1	2	3	4	5																	
強化対象選手およびそのサポートスタッフ	強化指定A	20	2	12	0		・前年度6-AD研修会を受けているアスリートが多数	1 対面式ワークショップ (研修)	1) フラッシュボードに関する原則及び価値	2) 読解者、サポートスタッフの権利及び義務	3) 継続責任の原則	4) ドーピングの結果	5) フラッシュボードに関する原則及び価値	6) 禁止薬物の情報及び方法	7) サポートスタッフ使用のガイド	8) 薬の使用及び治療使用原則	9) 及び	10) 評価	11) 評価	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	強化担当サポートスタッフも同席									
									1) フラッシュボードに関する原則及び価値	2) 読解者、サポートスタッフの権利及び義務	3) 継続責任の原則	4) ドーピングの結果	5) フラッシュボードに関する原則及び価値	6) 禁止薬物の情報及び方法	7) サポートスタッフ使用のガイド	8) 薬の使用及び治療使用原則	9) 及び	10) 評価	11) 評価											
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率	●教育実施者からのフィードバック ●参加者アンケート	JADA講師派遣 (委託事業) 教材提供	コーススタディを用いたワークショップです
																						22年10月30日(土)～	2022年10月30日(土)～	・ガイドブック (NLIA以上)	・ワークショップ -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・参加人数 -参加者アンケート -教育実施者からのフィードバック	・研修会参加率			

P24-28に、教育内容で要請される11トピックス、3レベルの学習目標、アクティビティの概要についてご確認ください。

2021Code/ISEで要請する、教育内容としての「11トピックス」

クリーンスポーツ教育＝価値を基盤としたアンチ・ドーピング教育

Main Topics カテゴリー	教育内容で求められる11トピックス (番号は2021Codeの記載順)	* 11トピックス: 英語
<b>A</b> スポーツの価値・ クリーンスポーツ環境のため Values of Sport	1. クリーンスポーツに関する原則及び価値	1. Principles and values associated with clean sport
<b>B</b> クリーンスポーツ行動・習慣化 Clean Sport Behaviour	2. 本規程に基づく競技者、サポートスタッフ、 その他のグループの権利及び責務 3. 厳格責任の原則	2. Athletes', Athlete Support Personnel's and other groups' rights and responsibilities under the Code 3. The principle of Strict Liability
<b>C</b> ドーピングの結果・影響 Consequences of Doping	4. ドーピングの結果 例えば、身体的及び精神の健康、社会的及び経済的な影響、並びに 制裁措置	4. Consequences of doping for example, physical and mental health, social and economic effects, and sanctions
<b>D</b> ルール違反の項目 ADRVs	5. アンチ・ドーピング規則違反	5. Anti-Doping Rule Violations
<b>E</b> 健康を守るため For Athletes' Health	6. 禁止表上の物質及び方法 7. サプリメント使用のリスク 8. 薬の使用及び治療使用特例	6. Substances and Methods on the Prohibited List 7. Risks of supplement use 8. Use of medications and Therapeutic Use Exemptions
<b>F</b> 自身がクリーンであることを 証明 For Clean Athletes	9. 尿、血液及びアスリート・バイオロジカル・パスポート を含む検査手続 10. 居場所情報及びADAMSの使用を含む登録検査対象者 リスト (RTP) の要件	9. Testing procedures, including urine, blood and the Athlete Biological Passport (ABP) 10. Requirements of the Registered Testing Pool (RTP), including whereabouts and the use of ADAMS
<b>G</b> スポーツを守る・創る SpeakingUP!	11. ドーピングに関する懸念を共有するために声を上げる こと (Speaking Up)	11. Speaking up to share concerns about doping



# 教育目標

## 3レベルの学習目標 x 各トピックス x 各ターゲットに対して設定



= Be capable of

(認知・理解した知識を関連付けて)  
自身で行動・実行できる  
人に伝えることができる



= Understand

(概念、背景を) 理解する



= Be aware of

(事実・理由・方法を) 認知する

認知能力  
Cognitive Domain

非認知能力  
Affective Domain

### 各トピックスごと

Main Topicsカテゴリー	教育内容で求められる11トピックス (番号は2021Codeの記号順)
A スポーツの価値・ クリーンスポーツ環境のため Values of Sport	1. クリーンスポーツに関する原則及び価値
B クリーンスポーツ行動・習慣化 Clean Sport Behaviour	2. 本規程に基づく競技者、サポートスタッフ、 その他のグループの権利及び責務 3. 厳格責任の原則
C ドーピングの結果・影響 Consequences of Doping	4. ドーピングの結果 例えば、身体的及び精神の健康、社会的及び経済的な影響、並びに 制裁措置
D ルール違反の項目 ADRVs	5. アンチ・ドーピング規則違反
E 健康を守るため For Athletes' Health	6. 禁止表上の物質及び方法 7. サプリメント使用のリスク 8. 薬の使用及び治療使用特例
F 自身がクリーンであることを 証明 For Clean Athletes	9. 尿、血液及びアスリート・バイオロジカル・パスポート を含む検査手続 10. 居場所情報及びADAMSの使用を含む登録検査対象者 リスト (RTP) の要件
G スポーツを守る・創る SpeakingUP!	11. ドーピングに関する懸念を共有するために声を上げる こと (Speaking Up)

### 各ターゲット



適切に学びのステップを踏み、段階を経て  
知識（認知）と非認知を深め高めていく

## 学習目標：ターゲット別マトリックス Expected Education Objectives for each Target Groups







教育達成フェーズ	教育ターゲット区分	<div>01 クリニックススポーツに関する原則及び価値</div> <div>02 本邦国に基づき競技者・その他のカテゴリーの参加及び選抜</div> <div>03 厳格責任の原則</div> <div>04 ドーピングの検出</div> <div>05 アンチ・ドーピング規則違反</div> <div>06 禁止表上の物質及び方法</div> <div>07 サプリメント使用のリスク</div> <div>08 薬の使用及び治療使用特例</div> <div>09 尿・唾液及びアシリット・ハイオロシカル・パスポートを含む検査手続</div> <div>10 国際所管機関及びADAMSの使用を含む検査手続の要件</div> <div>11 ドーピングに関する概念を共有するために語を上げること(speaking up)</div>										
		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11
P7	Mastery	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	E3	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
P6	E2	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
P5	E1	C	C	C	C	C	C	C	C	U	C U	C
P4	T4	C	C	U	U	U	C U	U	U	U	A	U
P3	T3	U	U	U	U	U	U	U	C	U A	A	U A
P2	T2	A	A	A	A	A	A	A	A	A		A
P1	T1	A	A	A	A	A	A	A	A	A		A
	F3	A	A		A	A	A	A	A	A		A
	F2	A	A		A	A	A	A	A	A		A
	F1	A	A		A	A	A	A	A	A		A

- Mastery** Multiple Medals, Sustained Success (Quadrennial) 複数メダルオリンピック  
パラリンピック世界選手権
- E3** Elite/World-Level Medals  
メダル、入賞オリンピックパラリンピック世界選手権
- E2** World Medal Potential Athletes  
入賞、出場オリンピックパラリンピック世界選手権
- E1** Elite/Senior Representation  
日本代表/Team JAPAN アジア大会 国際競技大会
- T4** Breakthrough and Reward(National Team)  
シニア日本代表選考会 シニア強化指定  
年代別日本代表国内選手権 (国内トップイベント)  
ユニバ YOG、ユースエリート・育成対象
- T3** Practicing and Achieving  
(Aiming for International/National Team)  
大学選手権 国体出場
- T2** Talent Verification  
高校選手権/インターハイ出場 地方大会 TID 選別者
- T1** Identified Talent 地域大会 TID 発掘事業参加者
- F3** Sport Specific Commitment and/or Competition  
県大会
- F2** Extension and Refinement of Movement  
市大会 学校体育 学校部活
- F1** Learning and Acquisition of Basic Movement  
地域クラブ 学校体育
- C** = Be capable of  
(認知・理解した知識を関連付けて)  
自身で行動・実行できる 人に伝えることができる
- U** = Understand  
(概念、背景を) 理解する
- A** = Be aware of  
(事実を) 認知する

## 各種アクティビティの設定（＊以下、2022年度NFによる教育計画・実施における重点ポイント）

### 教育対象プールとターゲット

アスリート・サポートスタッフも含む

	<b>E-ラーニング</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>WADA ADEL</li> </ul>	<b>対面教育</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>対面式ワークショップ（研修会）</li> </ul>	<b>教材</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドブック</li> <li>リーフレット 等</li> </ul>	<b>競技大会における教育（EBE）</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>アウトリーチプログラム</li> <li>ポスター掲示</li> <li>競技会場での研修会 等</li> </ul>	<b>スポーツの価値発信</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>メッセージ動画撮影</li> <li>SNS発信 等</li> </ul>	<b>その他の教育</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>ウェビナー</li> <li>WEBサイト</li> <li>メーリングリスト 等</li> </ul>
<b>強化対象</b>	<b>強く推奨</b> NLAコース 2年間に1回 <small>※有効な修了証を持っていないアスリートが新しく入った場合は1か月以内に受講</small>	<b>強く推奨</b> 1年に1回	<b>強く推奨</b> ガイドブック（NLA）		<b>推奨</b> ロールモデルアスリート動画への参加	<b>強く推奨</b> 最新禁止表ウェビナー
<b>IF主催国際競技大会へ派遣・参加</b>	<b>強く推奨</b> NLAコース 2年間に1回 <small>※IFが出席要件として、特定のEラーニングを指定する場合あり</small>	<b>強く推奨</b> 派遣の6か月前までに実施	<b>推奨</b> ガイドブック（NLA）		<b>推奨</b> SNSクリーンスポーツキャンペーン	<b>強く推奨</b> 最新禁止表ウェビナー
<b>国内最高レベルの競技会への参加</b>	<b>強く推奨</b> NLAコース 2年間に1回		<b>推奨</b> ガイドブック（NLA）	<b>強く推奨 ※未成年</b> 親権者同意書 情報提供 <b>推奨</b> 横断幕/ポスター掲示		<b>推奨</b> ・ JADAウェビナー（11トピックス） ・ JADAアスリートサイトへのリンク
<b>育成対象</b>	<b>推奨</b> タレントアスリートコース	<b>推奨</b> 1年に1回	<b>強く推奨</b> ガイドブック（ユース） <b>推奨</b> MANGA動画 / 検査手順	<b>推奨</b> ・ アウトリーチプログラム ・ ロールモデルアスリート動画の放映		<b>推奨</b> クイズアプリ（リアルチャンピオン）
<b>その他のアスリート～一般</b>				・ プログラム版挿入 ・ ロールモデルアスリート動画の放映	・ SNSクリーンスポーツキャンペーン	<b>推奨</b> ・ JADAウェビナー（11トピックス） ・ JADAアスリートサイトへのリンク

# 「競技大会における教育」 Event-Based Educationの例



## 参加エントリー前

対象：アスリート  
サポートスタッフ

### Eラーニング受講

- ・大会の競技レベルによってADELの受講を義務化  
→エントリー時に、受講した証明を提出
- ・ユースの大会においては、サポートスタッフのADEL受講を義務化



## エントリー～大会前

対象：アスリート  
サポートスタッフ

### 18歳未満同意書

- ・大会のHPや要項に、18歳未満同意書に関する情報提供＋ユース向け教材の紹介

### 教材の提供



## 大会期間①

対象：アスリート  
サポートスタッフ

### アウトリーチブース

- ・クイズ
- ・メッセージボードの設置



### スポーツの価値セッション (待ち時間での開催)



## 大会期間②

対象：アスリート  
サポートスタッフ  
観客

### 横断幕/ポスター掲示



### 動画放映



## 大会期間～大会後

対象：アスリート  
サポートスタッフ  
観客

### SNSやリリース文での発信

- ・統一のハッシュタグをつけてスポーツの価値のメッセージをリアルタイムに発信



# 2022年度教育年間計画表

ステップ3-1: 各教育ターゲットに対する  
アクティビティの設定



ステップ3-2: 各アクティビティに対する  
教育目標の設定

P30-31を参考に、ターゲットに対するアクティ  
ビティ設定×教育目標を入力してください

ターゲットの カテゴリー	教育ターゲット	人数	1P- BTP/TP 含む	JADA- BTP/TP 含む	未成年 を含む	ターゲットに 関する 備考	2022年度教育タ ーゲットに 基づく具 体、ニーズ	教育 アクティビティ の紐付け	各教育アクティビティ教育目標 ・アクティビティの種別により選定される。11のトピックスごとの目標 ※目標設定は、11のトピックスごとの目標			
									教育目標5つのトピックス			
教育 アクティビティ の紐付け	教育 アクティビティ の紐付け	教育 アクティビティ の紐付け	教育 アクティビティ の紐付け	教育 アクティビティ の紐付け	教育 アクティビティ の紐付け	教育 アクティビティ の紐付け	教育 アクティビティ の紐付け	教育 アクティビティ の紐付け	教育目標5つのトピックス			
									1) トピックス1: 生活習慣の改善	2) トピックス2: 生活習慣の改善	3) トピックス3: 生活習慣の改善	4) トピックス4: 生活習慣の改善
1. 教育 アクティビティ の紐付け	X000大会 演説プログラム	15	-	-	✓	2022年度教育タ ーゲット (東京/日本)	1. 生活習慣の改善 2. 生活習慣の改善 3. 生活習慣の改善 4. トピックス4: 生活習慣の改善 5. トピックス5: 生活習慣の改善 6. トピックス6: 生活習慣の改善 7. トピックス7: 生活習慣の改善 8. トピックス8: 生活習慣の改善 9. トピックス9: 生活習慣の改善 10. トピックス10: 生活習慣の改善	初年度フォーカス	1) トピックス1: 生活習慣の改善	2) トピックス2: 生活習慣の改善	3) トピックス3: 生活習慣の改善	4) トピックス4: 生活習慣の改善
									5) トピックス5: 生活習慣の改善	6) トピックス6: 生活習慣の改善	7) トピックス7: 生活習慣の改善	8) トピックス8: 生活習慣の改善
2. 教育 アクティビティ の紐付け	X000大会 演説プログラム	10	-	-	✓	2022年度教育タ ーゲット (東京/日本)	1. 生活習慣の改善 2. 生活習慣の改善 3. 生活習慣の改善 4. トピックス4: 生活習慣の改善 5. トピックス5: 生活習慣の改善 6. トピックス6: 生活習慣の改善 7. トピックス7: 生活習慣の改善 8. トピックス8: 生活習慣の改善 9. トピックス9: 生活習慣の改善 10. トピックス10: 生活習慣の改善	初年度フォーカス	1) トピックス1: 生活習慣の改善	2) トピックス2: 生活習慣の改善	3) トピックス3: 生活習慣の改善	4) トピックス4: 生活習慣の改善
									5) トピックス5: 生活習慣の改善	6) トピックス6: 生活習慣の改善	7) トピックス7: 生活習慣の改善	8) トピックス8: 生活習慣の改善

「2022年度教育年間計画表」

## ステップ3-1: 各教育ターゲットに対するアクティビティの設定

⇒各教育ターゲットに対して、「教育ターゲット×アクティビティ」(P27)を参考に、実施するアクティビティを入力する

3 Education Curriculum

教育ターゲット×アクティビティ

各種アクティビティの設定（※以下JADA版）

	E-ラーニング	対面教育	教材	競技大会における教育 (EBE)	スポーツの環境整備	その他の教育
教育対象プールとターゲット アスリート対象・13歳以下(男女)	WADA ADEL	対面ワークショップ (対面式)	ガイドブック ・リフレット 等	アスリート対象 ・アスリート ・アスリート ・アスリート	アスリート対象 ・アスリート ・アスリート ・アスリート	アスリート対象 ・アスリート ・アスリート ・アスリート
強化対象アスリート	強化対象アスリート ・強化対象アスリート ・強化対象アスリート	強化対象アスリート ・強化対象アスリート ・強化対象アスリート	強化対象アスリート ・強化対象アスリート ・強化対象アスリート	強化対象アスリート ・強化対象アスリート ・強化対象アスリート	強化対象アスリート ・強化対象アスリート ・強化対象アスリート	強化対象アスリート ・強化対象アスリート ・強化対象アスリート
IF主要国際競技大会 出場アスリート	IF主要国際競技大会 出場アスリート ・IF主要国際競技大会 出場アスリート	IF主要国際競技大会 出場アスリート ・IF主要国際競技大会 出場アスリート	IF主要国際競技大会 出場アスリート ・IF主要国際競技大会 出場アスリート	IF主要国際競技大会 出場アスリート ・IF主要国際競技大会 出場アスリート	IF主要国際競技大会 出場アスリート ・IF主要国際競技大会 出場アスリート	IF主要国際競技大会 出場アスリート ・IF主要国際競技大会 出場アスリート
国内部局レベルの 競技会出場アスリート	国内部局レベルの 競技会出場アスリート ・国内部局レベルの 競技会出場アスリート	国内部局レベルの 競技会出場アスリート ・国内部局レベルの 競技会出場アスリート	国内部局レベルの 競技会出場アスリート ・国内部局レベルの 競技会出場アスリート	国内部局レベルの 競技会出場アスリート ・国内部局レベルの 競技会出場アスリート	国内部局レベルの 競技会出場アスリート ・国内部局レベルの 競技会出場アスリート	国内部局レベルの 競技会出場アスリート ・国内部局レベルの 競技会出場アスリート
育成対象アスリート	育成対象アスリート ・育成対象アスリート ・育成対象アスリート	育成対象アスリート ・育成対象アスリート ・育成対象アスリート	育成対象アスリート ・育成対象アスリート ・育成対象アスリート	育成対象アスリート ・育成対象アスリート ・育成対象アスリート	育成対象アスリート ・育成対象アスリート ・育成対象アスリート	育成対象アスリート ・育成対象アスリート ・育成対象アスリート
その他のアスリート 一一般	その他のアスリート 一一般 ・その他のアスリート 一一般	その他のアスリート 一一般 ・その他のアスリート 一一般	その他のアスリート 一一般 ・その他のアスリート 一一般	その他のアスリート 一一般 ・その他のアスリート 一一般	その他のアスリート 一一般 ・その他のアスリート 一一般	その他のアスリート 一一般 ・その他のアスリート 一一般

Copyright © JADA All Rights Reserved. 2022 Ver.

「教育ターゲット×アクティビティ」  
(P27)

実施する教育アクティビティ  
の種類

	教育 アクティビティ の種類	各教育アクティビティ教育目標 - アクティビティの終わりに達成させる、11のトピックスごとの目標			
		※対面式ワークショップの場合記載			
		取り扱うトピックス	認識する (A)	理解する (U)	行動する (C)
1	対面式 ワークショップ (研修会)	1) クリーンスポーツに関する原則及び価値		●	●
		2) 競技者、サポートスタッフの権利及び責務			●
		3) 厳格責任の原則		●	●
		4) ドーピングの結果		●	
		5) アンチ・ドーピング規則違反		●	
		6) 禁止表上の物質及び方法		●	●
		7) サプリメント使用のリスク		●	●
		8) 薬の使用及び治療使用特例		●	●
		11) ドーピングに関する懸念を共有するために声を上げること		●	
3	禁止表ウェビナー	6) 禁止表上の物質及び方法			

「2022年度教育年間計画表」

## ステップ3-2: 各アクティビティに対する教育目標の設定

⇒アクティビティに対して、「**学習目標:ターゲット別マトリックス**」(P26)を参考に、

①取り扱うトピックスの種類、②それぞれの教育目標を入力する

### ISEで定めるクリーンスポーツ教育<11トピックス>

教育達成フェーズ		教育ターゲット区分										
P7	Mastery		C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	E3	オリパラの意義や 基本規範の理解	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	P6	E2		C	C	C	C	C	C	C	C	C
	P5	E1	アジア大会・アジアパラ大会出場 経験がある者	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	P4	T4	↑ シニア強化選手 ユニバ	C	C	U	U	U	U	U	U	U
P3	T3	↓ 大学選手権出場	U	U	U	U	U	U	U	U	U	U
P2	T2	インターハイ出場、 タレント育成参加者	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
P1	T1	全国中学校体育大会出場 タレント育成参加者	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	F3	「強豪」育成 育成者	A	A		A	A	A	A	A	A	A
	F2	練習・地区クラブ、一般・ 少年団	A	A		A	A	A	A	A	A	A
	F1	練習、少年団	A	A		A	A	A	A	A	A	A

「学習目標:ターゲット別マトリックス」(P26)

※**対面式ワークショップ(研修会)**において、入力必須項目  
※「**学習目標:ターゲット別マトリックス**」は、1回の対面式  
ワークショップ(研修会)だけでなく、その他のアクティビ  
ティと合わせて達成させる目標として記載されています

	教育 アクティビティ の種類	各教育アクティビティ教育目標 - アクティビティの終わりに達成させる、11のトピックスごとの目標			
		※対面式ワークショップの場合記載			
		取り扱うトピックス	認識する (A)	理解する (U)	行動する (C)
1	対面式ワークショップ (研修会)	1) クリーンスポーツに関する原則及び価値		●	●
		2) 競技者、サポートスタッフの権利及び責務			●
		3) 厳格責任の原則		●	●
		4) ドーピングの結果		●	
		5) アンチ・ドーピング規則違反		●	
		6) 禁止表上の物質及び方法		●	●
		7) サプリメント使用のリスク		●	●
		8) 薬の使用及び治療使用特例		●	●
		11) ドーピングに関する懸念を共有するために声を上げること		●	

教育ターゲットに対する、それぞれの  
トピックスに関する教育目標

「2022年度教育年間計画表」

# 教育実施のための要素：実施者

4

### 教育計画 / Education Plan

教育の目的 - 教育を通じた長期目的: スポーツの価値を基盤とした社会のリーダーを育てる → 年間の教育目的、計画策定、モニタリング・評価



# 2022年度教育年間計画表策定のステップ対応表

2022年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 【記入例】

競技団体名	公益財団法人日本XX連盟		
種目名	YYY		
計画承認者	(役職)	事務局長	(氏名) XXX

教育の目的	教育プログラムを通して、学習者は、知識、スキルを養い、自信を持つことで、スポーツを生涯通して楽しむことができるのみならず、さらにはソーシャルスキルとエモショナルスキルを学び、ライフスキルを身につけて人間性を向上させ続けることができる。それらを通して、自身で責任のある意思決定ができる。また、スポーツの価値・チカラを自身の生き方にどのように活かせるかを学び、スポーツの価値を通してより良い社会を創る行動ができる。教育プログラムを通して、将来的にスポーツの価値を社会で体現していく人材が育ち、より良い社会を創ることができる。
2022年度の教育の達成目標	

## ステップ4-1: 教育実施者の選定

ターゲットの カテゴリー	教育ターゲット	人数	IF- RTP/TP 含む	JADA- RTP/TP 含む	未成年 を含む	ターゲットに 関する 備考	教育ターゲットに おける懸念、ニーズ	教育 アクティビティ の種類	各教育アクティビティ教育目標 (アクティビティの終わりに達成される、11のトピックスごとの目標)		教育実施者 の選定 (JADA講師 の選定)	アクティ ビティ のタイム ライン	実施場所	使用する教材	実施モニタ リング 項目	評価方法		JADA との連携	メモ NOTE
									取り扱うトピックス	達成 する 割合 (%)						定量	定性		
I 強化対象選手 および そのサポート スタッフ	強化指定A	20	2	12	0	世界選手権 入賞 または IFポイント● 以上	・前年度もAD研修 会を受けているアス リートが多数  ・2月の世界選手権 に派遣される可 能性があるアスリ トもいるため、改定 後の禁止表につい ての情報提供が必 要  ・自身で行動するア スリートが少ない	1	対面式ワーク ショップ (研 修)	●	JADA講師 XX/XX ~ 2022年 10月Y日 (北海道)	・ガイドブック (NLA以上)	・ワークショップ 参加人数 ・参加者アン ケート ・教育実施 者からの フィードバック	●研修会参加 率	●教育実施者 からのフィードバ ック ●参加者アン ケート	JADA講師派 遣 (委託事 業)	教材提供	ケーススタディを用い たワークショップを 強化担当サポース タフも同様	
								2	FAIR PRIDE Eラン	●						・Eラン受講 人数	●Eラン受講率	—	—
								3	JADA Webinar	●						・Webinar 視聴者人数 ・TUE申請 状況	●Webinar受 講率	●(TUE申請が 必要なアスリート のTUEの申請 不備の有無)	—
									2023年禁止表	●									

4 教育計画  
「ステップ4-1:  
教育実施者の選定」  
参照

P34を参考に、黄色の枠に教育実施者を入力してください

「2022年度教育年間計画表」

# 2022年度教育年間計画

## ステップ4: 教育実施者の選定

⇒各NFでの「**教育活動者**」の氏名を記載

※特に対面ワークショップ(研修会)において、  
後述の〈必須要件〉を満たさない活動者  
が講師対応することのないよう、実施の  
フェーズにおいては、教育担当者が選定さ  
れた教育実施者の確認を行う

⇒JADAからの講師派遣を希望する場合  
は、「**JADA講師**」と記載

教育 アクティビティ の種類	各教育アクティビティ教育目標 (「アクティビティの目標」内に記載される、11のトピックごとの目標)			教育実施者 の氏名 (※JADA講師の場合は「JADA講師」と記載)
	取り扱うトピックス	達成 する (○)	達成 する (△)	
対面式ワーク ショップ(研 修会)	1) グリーンスポーツに関する理解及び啓発			●
	2) 緑地系、自然・土壌・水環境に関する理解			●
	3) 緑地系に関する理解			●
	4) トレーニング知識			●
	5) アンダー・ドメイン知識			●
	6) 緑地系上の動植物及び土壌			●
	7) サポート環境の理解			●
	8) 園の使用及び活用事例			●
	9) 緑地系及びグリーン・インフラの活用事例			●
	10) 緑地系に関する知識			●



「2022年度教育年間計画表」

# 教育担当者・教育活動者の＜必須要件＞

## 年間計画書「2.【説明】教育担当者・教育活動者」における記載内容

「教育担当者」とは	教育担当者は、各団体のAD教育活動の年間計画を策定し、管理する担当者
「教育担当者」の主な役割	① NFにおける、AD教育活動の年間計画を策定する ② 策定した年間計画を各NFの承認プロセスに準じてNFの共通の了解事項とする ③ 年間計画を遂行する上での体制の構築を行う例:「教育活動者」の確保及び管理、活動内容の方針決定 ④ 年間計画の実行における進捗確認及び振り返りの実施 ⑤ JADAとの連携、情報共有
活動の要件	・教育会議への参加(視聴) ・ウェビナー視聴(JADA指定) ・Eラーニング受講(JADA指定)

「教育活動者」とは	教育活動者は、各NFのAD教育活動の実行者 例)研修会の講師、アウトリーチのリーダー等 (NFで人材の確保・育成・管理を行ってください)
「教育活動者」の主な役割	・NFのAD教育年間計画にある活動を「教育担当者」の指示のもと推進する 例)研修会の講師、アウトリーチのリーダー等 ・教育活動者の活動内容については、NFで決定
活動の要件	・教育会議等への参加(視聴) ・ウェビナー視聴(JADA指定) ・Eラーニング受講(JADA指定)

2022年度末の報告書において、「教育活動者」の以下の項目の参加・修了状況を報告ください

- ✓ アンチ・ドーピング教育会議(2022年度2回を想定)
- ✓ クリーンスポーツWebinar(「2023年禁止表」の回)
- ✓ WADA学習プラットフォームADEL内 Eラーニング「RTPコース」 ※日本語翻訳あり。他コース翻訳版は順次公開予定

＜理由＞2021Code(第18.2.2条)/ISE(第5.8条)において求められる、Educator(教育者)制度の移行期間において、アスリートおよびサポートスタッフへの教育の「質」を担保するため

※会議・Eラーニング等をJADAから加盟団体へご案内する際、「教育活動者」の報告項目である旨、明示致します

# 教育担当者・教育活動者の＜必須要件＞の報告

- ◆これまで通り、【教育担当者】【教育活動者】を設定し、年間計画「1. アンチ・ドーピング活動の体制」のタブ記載ください
- ◆活動報告時に年間計画「10.教育担当者と教育活動者の活動」のフォーマットに従い、＜必須要件＞(P35)の状況について担当者より報告をお願い致します

※報告書に、Eラーニング等の修了証を添付頂く必要はありません

※2023年度からの国内のEducator(教育者)制度を導入に向けて、別途説明の機会を設定させていただきます

# 各団体での活動評価

### 4 教育計画 / Education Plan

教育の目的 - 教育を通じた長期目的: スポーツの価値を基盤とした社会のリーダーを育てる → 年間の教育目的、計画策定、モニタリング・評価

# 2022年度教育年間計画表

2022年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 【記入例】

<b>競技団体名</b> 公益財団法人日本XX連盟		<b>計画作成日</b> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; display: inline-block;"></div>																
<b>種目名</b> YYY																		
<b>計画承認者</b> (役職)	事務局長	(氏名)	XXX															
<b>教育の目的</b> 教育プログラムを通して、学習者は、知識、スキルを養い、自信を持つことで、スポーツを生涯通じて楽しむことができるのみならず、さらにパフォーマンスを向上させることを学び、パフォーマンスを向上させ続けることができる。 それらを通して、自身で責任のある意思決定ができる。 また、スポーツの価値・チカラを自身の生き方にもつなげるように活かせることを学び、スポーツの価値を通してより良い社会を創る行動ができる。 教育プログラムを通して、将来的にスポーツの価値を社会で体験している人材が育ち、より良い社会を創ることができる。																		
<b>2022年度の教育の達成目標</b>																		
<b>ターゲットの カテゴリー</b>	<b>教育ターゲット</b>	<b>人数</b>	<b>IF- RTP/T P 含む</b>	<b>JADA- RTP/T P 含む</b>	<b>未成年 を含む</b>	<b>ターゲットに 関する 備考</b>	<b>教育ターゲットに 関する 問題、こ ろ</b>	<b>教育 アクティビ ティの 種類</b>	<b>各教育アクティビティ教育目標 (アクティビティの組み合わせにより達成される、11のトピックスごとの目標)</b> <b>知識(知コンピテンス)の統合的発展</b>	<b>教育実施者</b> <b>アクティ ビティの タイム ライン</b>	<b>実施場所</b>	<b>使用する教材</b>	<b>実施モニタ リング 項目</b>	<b>評価方法</b> <b>定量</b>	<b>定性</b>	<b>JADA との連携</b>	<b>メモ NOTE</b>	
<b>強化対象選手 および そのサポート スタッフ</b>	強化指定A	20	2	12	0	世界選手権 入賞 または IFポイント 以上	・前年度もAD研修 会を受けているアス リートが多数	1	対面式ワー クショップ (研 修)	1) グリーンスポーツに関する原則及び価値 2) 競技者、サポートスタッフの権利及び義務 3) 厳格責任の原則 4) ドーピングの結果 5) アンチドーピング規則違反 6) 禁止薬上の物質及び方法 7) サブリマイト使用のリスク 8) 薬の使用及び治療使用特例 9) 尿、血液及びアスリートバイオロジカル・パスポートを 10) 座席所情報とRTP メカニズム	2022年 10月Y日 XX:XX ～	YYYYYYYYYY (北海道)	・ガイドブック (NLA以上)	・ワークショップ 参加人数 ・参加者アン ケート ・教育実施 者からの フィードバック	●研修会参加 率	●教育実施者 からのフィードバ ック ●参加者アン ケート	JADA講師派 遣 (委託事 業) 教材提供	コーススタディを用い たワークショップとする 強化担当サポース タッフも同席
							・2月の世界選手 権に派遣される可 能性があるアスリ ートがいるため、改正 後の禁止表につい ての情報提供が必 要	2	FAIR PRIDE エラン	-	2022年 9月末ま で	-	-	・エラン受講 人数	4	「モニタリング、 評価方法の設 定」 参照	強化合宿での対面 式ワークショップとの 連携を踏まえ、強化 合宿参加要件とする	
							・自身で行動するア スリートが少なく	3	JADAウェブナー 2023年禁止表	-	2022年 12月20 日まで	-	-	・Webinar 視聴者人数 ・TUE申請 状況				

P39-41を参考にモニタリング・評価方法を検討し、水色の枠に入力してください

「2022年度教育年間計画表」

# 教育活動の実施状況モニタリングと評価(案)

## E-ラーニング



- WADA ADEL

修了者人数

モニタリング  
※定性/定量的なデータの収集

評価(定量)

評価(定性)

<中長期>  
意識変容・行動変容

## 対面教育



- 対面式ワークショップ(研修会)

- 参加人数
- 教育実施者からのフィードバック
- 参加者からのアンケート

- 研修会受講を課した人数に対する参加者の割合(%修了者)
- アンケートにおける理解度クイズ正解率

- 教育実施者によるリフレクション、フィードバック
- 学習者へのアンケート
- 学習者の行動意欲

## 教材



- ガイドブック
- リーフレット 等

- 配布部数
- 配布されたアスリート/サポートスタッフの様子

配布部数

配布されたアスリート/サポートスタッフの様子

## 競技大会における教育 (EBE)



- アウトリーチプログラム
- ポスター/横断幕掲示
- 参加人数
- 教育実施者からのフィードバック
- 参加者からのアンケート
- アスリート/サポートスタッフ/観客の様子やアンケート

- 参加人数
- アンケートにおける理解度クイズ正解率

- 教育実施者によるリフレクション、フィードバック
- 学習者へのアンケート

アスリート/サポートスタッフ/観客の様子やアンケート

## スポーツの価値発信



- メッセージ動画撮影
- SNS発信 等

- 動画参加人数
- メッセージ内容
- SNSでのリアクション

- 動画撮影参加人数
- SNSでの「いいね」「シェア」等の数

メッセージにおけるスポーツの価値の内容

## その他の教育



- 視聴修了者人数
- 視聴修了者からのアンケート

- 視聴修了者人数
- アンケートにおける理解度クイズ正解率

視聴修了者からのアンケート

ターゲットにおける「課題・ニーズ」への効果

次年度の年間計画策定内容へ反映

アスリート/サポートスタッフの  
アンチ・ドーピング/スポーツの価値に  
関する意識調査

アンケートにおけるクイズの正解率の変化

アンチ・ドーピング規則違反発生件数

「スポーツの価値」SNS発信回数

# ターゲットにおける「課題・ニーズ」設定のポイント

- ◆ 各個人の責任ある意志決定を促し、ライフスキルを養うための、育てたい資質・能力（コンピテンシー）の基盤となる「認知能力」と「非認知能力」の考え方が重要

→ 知識（認知能力）や思考力のみならず、  
各個人々のフェアでクリーンなスポーツに向かう態度・考え方の醸成  
個人の価値観の醸成 をいかに行っていくかを前提に「課題・ニーズ」を設定すること

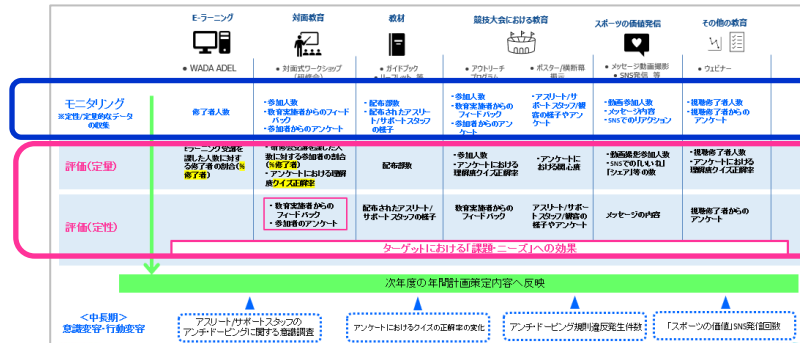
『教育の目的達成ステップ』、『「教育目的」【育てたい資質・能力】』  
のページ（P11）を確認



# 2022年度教育年間計画表

## ステップ5: モニタリング、評価方法の設定

⇒「活動のモニタリングと評価(案)」(P39)を参考に、実施モニタリング(定性/定量的なデータの収集)、評価方法について計画時での予定を入力



「活動のモニタリングと評価(案)」(P39)

実施場所	使用する教材	実施モニタリング項目	評価方法		JADとの関係
			定量	定性	
山形県立総合体育館 トレーニングセンター (東京)	ガイドブック (シニア) MANGA検定教材 リアルチャンピオンズ アスリート	ワークショップ 参加人数 参加者アンケート 参加者からのフィードバック	●研修会参加率 ●参加者アンケートによる 理解度向上率 → どのようにつながったか → 何ができたようになったか	●教育実習者からのフィードバック → どのようにつながったか → 何ができたようになったか	JADAトレーナー (多岐)
-	-	-	-	●メッセージの内容	#Fair Pride
-	-	-	-	-	-
-	ADEL NLA	-	-	●受講修了者確認	-

「2022年度教育年間計画表」

# 教材・JADAとの連携 / 支援

# 2022年度教育年間計画表

2022年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 [記入例]

編成団体名	公益財団法人日本XX連盟		
種別名	YYY		
計画承認者	役職	事務局長	(氏名) XXX

計画作成日

教育の目的	教育プログラムを通して、学習者は、知識、スキルを習得し、自信を持つことで、スポーツを「楽しむ」ことであり、さらにアンチ・ドーピングスキルとエモーション・スキルを習得し、アンチ・ドーピングスキルを習得し、人間性を高め、健全な人間性を持つことができる。また、スポーツの価値やスポーツの意義を学ぶことで、人々に伝達させることができ、スポーツの価値を通して、より良い社会を創ることができる。教育プログラムを通して、将来的にスポーツの価値を社会で発揮していく人材が育ち、より良い社会を創ることができる。
2022年度の教育の達成目標	

ターゲットの カテゴリー	教育ターゲット	人数	JF- RPT の 含む	JADA- RPT の 含む	未成年 を含む	ターゲットに 関する 備考	教育ターゲットに 関する 備考	教育 アクティビティ の種類	各教育アクティビティ教育目標 (アクティビティの種類と内容に添った場合、11000ワード以内で記載)				教育実施者	アクティビ ティの タイム ライン	実施場所	使用する教材	実施モニタ リング 項目	評価方法		JADA との連携	JFE NOTE					
									実施目標トピックス	達成 する 率 (%)	評価 する 項目 (%)	評価 する 項目 (%)						定量的	定性的							
強化対象選手 および そのサポート スタッフ	強化指定A	20	2	12	0	世界選手権 入賞 または FIFAイン 以上	-同世代競技会を 開催しているアスリート が多い  -2月の世界選手 権に派遣される可 能性があるアスリ ートが多いため、改定 後の禁止薬品につ いての理解が必須	1 対面式ワーク ショップ (紙 版)	1) クラウドベースの資料の活用	●	●	JADA関係 者	2022年 10月19日 XX:XX ～	xxxxxx-4 (実施者)	～ガイド ライン (NADA) ～教育実 施者の 役割の 役割	ワークシ ャップ 参加人数 参加者アン ケート ～教育実 施者の 役割の 役割	●研修会参加 率  ●参加者アン ケート	●教育実 施者 からのフィード バック ●参加者アン ケート	JADA関 連 (支 援)	ケーススタ ディを用い たワークシ ャップ  強化担当サポ ートス タッフ						
								2 FAIR PRIDE Eラン	2) 競技者、サポ ーターの役割	●	●										-	2022 9月 ～	2022 12月 日本	●Eラン 受講率	-	●TUE申請が 必要なアスリ ート 含むTUEの申請 不備の有無
								3 JADAウェブ 2023年禁止表	3) 競技者の役割	●	●															

「教育アクティビティ実施におけるJADAのサポート」  
「教育マテリアル一覧（資料ダウンロードページ掲載）」  
参照

「教育アクティビティ実施におけるJADAのサポート」  
参照

P44-48を参考にJADAのサポートおよびJADAとの連携希望を検討し、各枠内に入力してください「2022年度教育年間計画表」

# 教材・ツールの選択

以下の観点で、教材・ツールを適切に選択する必要性

対象

誰に対して使用するか



×

教育目標

何ができるようになるか



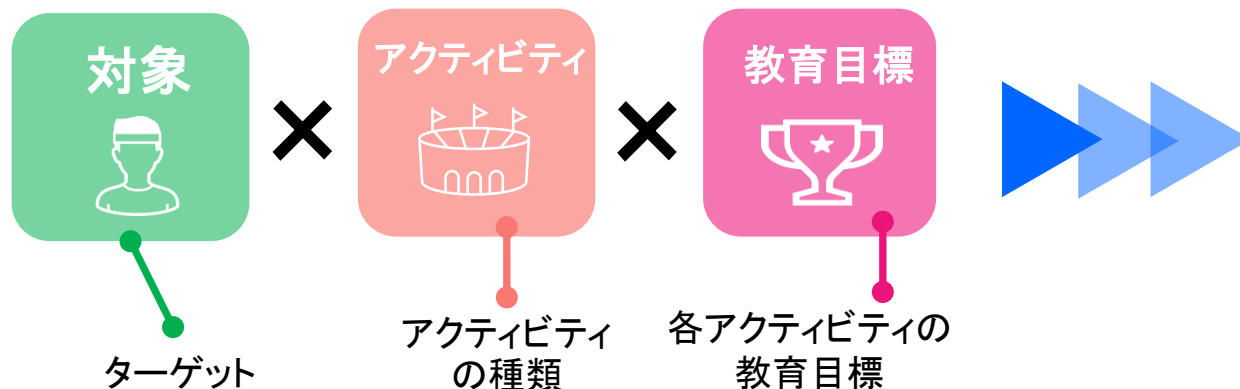
×

アクティビティ

どこで・どのように使用するか



# 2022年度教育年間計画表



PPT54-62の  
「2022年度教材・ツール  
一覧 202111ver.」におい  
て、適切な教材・ツールを  
選択

年間計画  
「使用する教材」に記入

[illegible]

「2022年度教育年間計画表」

# 2022年度教育年間計画表

## JADAとの連携

⇒ 対面式ワークショップ(研修会)、アウトリーチの教育アクティビティにおいてJADAとの連携を希望する場合、

「JADA講師派遣(委託事業)」

「JADA講師派遣(NF負担)」

「アウトリーチキット貸出(委託事業)」

「アウトリーチキット貸出(NF負担)」

のいずれかを記入(「委託事業」の回数は、2021年度と同数にて年間計画は策定ください)

⇒ SNSキャンペーン、SNSでの情報発信においてJADAと連携する場合、

「#FairPrideのハッシュタグを付けて発信」と記入

⇒ JADAから提供される教材(データ含む)を使用する場合、

「教材提供」もしくは「データ提供」と記入

実施場所	使用する教材	実施モニタリング項目	評価方法		JADAとの連携	メモ NOTE
			定量	定性		
5/6月ナショナル・センター(東京)	- ガイドブック(シニア) - MANGA検査動画 - リアルチャレンジオンラインアプリ	- ワークショップ参加人数 - 参加者アンケート - 教育実施者からのフィードバック	● 研修会参加率 ● 参加者アンケートによる理解度(クイズ正解率) → 進が良かったか → 何ができたようになったか	● 教育実施者からのフィードバック → どのように学んだか → 何ができたようになったか	JADAトレーナー派遣希望(委託事業) 教材提供	研修会の影響によって、オンライン研修会になる可能性あり
-	-	動画への参加		● メッセージの内容	#FairPrideつけて発信	研修会アスリートからのみではなく動画撮影場所の公式Twitterに投稿
-	ADEL NLA		● 受講終了確認		-	研修会の日付より2年間有効とする

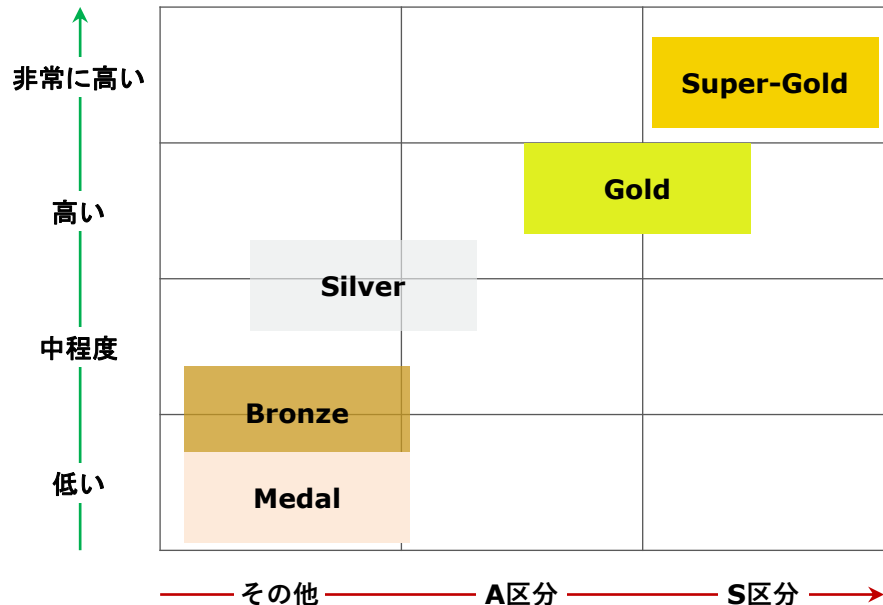
「2022年度教育年間計画表」

# 【参考】競技カテゴリーに基づく教育サポート内容

各競技の特性(ドーピングリスク x 国としてのプライオリティ)を考慮し、優先度の高い競技カテゴリーについては、教育計画に関するアクティビティ、年間計画策定等に対してJADAが傾斜的に関与していく (\* ISTI, ISEプライオリティ化との関連)

ドーピングリスク  
(TDSSA)

競技特性に合わせたカテゴリー分け



国としてのプライオリティ  
(重点支援競技+ プロリーグスポーツ)

競技カテゴリーによって、

- ・ 講師派遣の回数 / キット貸出回数
- ・ 年間計画策定支援
- ・ モニタリング項目 等

に差異化をもたせる

教育検討会議にて、競技カテゴリーとモニタリング項目は議論予定

⇒ 2022年3月までに、年間計画を確認の上、講師派遣回数/キット貸出回数について、各NFに連絡を想定

## 【参考】2022に使用する教材・ツールの申請

既存教材(一部2021年度末で配布中止)を含め、  
2022年度使用分については、  
2022年4月にJADA加盟団体に、  
「申請フォーム(旧希望部数調査)」について通知いたします。

年間計画の記載内容に基づき記入、申請ください

※年間計画と誤差がある場合は、JADAから問合せを行います



# 2022年度 教育年間報告書

# 実施報告書

年間計画に基づき、どのように実施し、評価(定量/定性)を記入ください

年間計画に入力する  
評価方法をもとに  
アクティビティごとに評価

年間計画に入力する  
「教育ターゲットにおける課題、ニーズ」  
に対する効果、改善のポイント

実施場所	使用する教材	実施モニタリング項目	評価方法		JADAとの関係
			定量	定性	
しがほナシオナルトレーニングセンター(東京)	・ボイトブック(ユニーク) ・MANIGA機動型 ・リアルチャンピオンアプリ	・ワークショップ参加人数 ・参加者アンケート ・教育実施者のフィードバック	●研修会参加率 ●参加者アンケートによる理解度/満足度 →達成したか →何ができたのか	●教育実施者からのフィードバック →どう感じたか →何ができたのか	JADAトレーナー(後援)
-	-	動画への参加		●メッセージの内容	Fair Pride
-	ADEL NLA			●受講者満足度	-

「2022年度教育実施計画表」

✓ 教育実施目標は達成したか？(受講率、修了率 等)

✓ 何ができるようになったか？(設定した教育目標<A/U/C>の達成 等)

✓ 設定した課題に対する学習者の取り組み方(学習者の様子)やフィードバックはどうだったか？  
など

✓ ターゲットの課題を解決するに至ったか？

- タイミングは適切だったか
- アクティビティの内容は適切だったか
- 教育実施者は適切なアプローチを行ったか

✓ ニーズに合致していたか？

✓ アスリートの行動や発言内容は変わったか

✓ 改善のポイントとしてどのような点があるか(年度中/来年度)

教育ターゲットにおける課題、ニーズ

# 報告書提出時の添付資料

添付資料	3	8. アンチ・ドーピング研修会の実施報告 フォーマットが変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンチ・ドーピング研修会 を実施した場合は、「アンチ・ドーピング研修会 実施報告」に受講者の属性(アスリート、サポートスタッフ等)、具体的な内容、教育目標に対する教育実施者からのフィードバック、教育実施者に対するNFからのフィードバックを記入の上、研修会の様子がわかる写真を添えてご提出ください。</li> <li>・アンチ・ドーピング研修会を実施した場合は、研修会毎の受講者名簿を提出してください。</li> <li>・テンプレートはありませんので、競技団体で作成している名簿でかまいません</li> </ul>
	4	アンチ・ドーピング研修会の研修資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンチ・ドーピング研修会を実施した場合は、研修資料(1部)を提出してください。</li> </ul>
	5	9. アウトリーチ実施報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトリーチ を実施した場合は、「アウトリーチ 実施報告」に具体的な内容、参加者の属性(アスリート、観客等)、来訪者数を記入の上、アウトリーチの様子がわかる写真を添えてご提出ください。</li> </ul>
	6	10.教育担当者と教育活動者の活動 新規報告内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育担当者・教育活動者の役割」において活動の要件と定められた、教育担当者と教育活動者の活動に関して記入をし、提出してください</li> <li>・eラーニングの修了証の写し等を添付頂く必要はありません</li> </ul>
	7	11.JADA提供教材配布先一覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JADAが提供する教材を配布した場合は、「JADA提供教材配布先一覧」にアスリート名、学校名、チーム名等を記入して提出してください。</li> </ul>
	8	12.教材の配布先一覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JADAの提供資料以外の教材を配布した場合は、「教材の配布先一覧」にアスリート名、学校名、チーム名等を記入して提出してください。</li> </ul>
	9	配布した教材資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材を配布した場合は、配布した教材(1部)を提出してください。</li> </ul>

# 2022年度実施報告書

「年間計画書」のタブをコピーして、実施報告書として使用いただけます  
実施計画をもとに、以下の項目の全てに入力を行ってください。

実施状況		参加者人数、 その内訳	評価 教育目標達成の程度		次年度の計画に 向けた 改善のポイント	教育実施者 自身の省察 (自己評価)
(ブルダウンから 選択)	「一部変更」「実施せ ず」の理由		定量	定性		
計画から一部変 更						

「実施計画書」で計画したアク  
ティビティの実施状況を入力

「一部変更」「実施せず」を選択し  
た場合は、その理由を記載

アクティビティの  
参加人数  
内訳を記載

「実施計画書」のに記載した  
「評価方法」に基づき、  
「定量」「定性」的な評価を入力

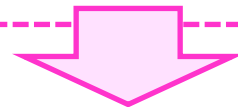
評価、教育目標の  
達成の程度を踏ま  
え、次年度に向けて  
気づいた点、改善  
点を入力

教育実施者の振り  
返しコメント、成長  
ポイント、気づきを  
入力

# 2022年度実施報告書

(対面ワークショップ/研修会の場合)

実施状況		参加者人数、 その内訳	評価 教育目標達成の程度		次年度の計画に 向けた 改善のポイント	教育実施者 自身の省察 (自己評価)
(ブルダウンから 選択)	「一部変更」「実施せ ず」の理由		定量	定性		
計画から一部変 更						



「8.研修会等の実施報告#」のタブに記載し、  
こちらの欄に入力はいいりません

# 2022年度 教材・ツール一覧

202111ver.

教育年間計画に基づき、以下の観点にて教材の選択をしてください

対象



アクティビティ



教育目標



# 2022年度教材・ツール一覧 202111ver.

(マテリアル一覧×入手方法)

✉ JADA 教育部：JADA-Education@playtruejapan.org

マテリアル	該当する 教育の4要素	JADA	JOC/JPC	NF					活用場面 ・ ツール
		JADA- RTP/TP	オリ・パラ 国際総合大会	強化対象	IF主催 国際大会出場	国内最高レベル 競技会出場	育成対象	サポート スタッフ	
<b>①Webバナー</b>   <p>■用途：競技団体の公式WEBサイト内でJADA公式WEBサイトへのリンクを設置          ■仕様：300×100pixel／200×100pixel100×100pixelのJPEGデータ          ■入手方法：2020年2月時点で加盟団体様へCD-Rでデータ送付済</p>		C	C	C	C	U	A	C	 WEBサイト
<b>②啓発ページ</b>   <p>■用途：競技団体のロゴを挿入の上、大会プログラムや刊行誌に掲載          ■仕様：A1/A4/A5サイズ（カラー及びモノクロ版）の各種ai及びPPTデータ          ■入手方法：教育部宛にご連絡ください。</p>		C	C	C	C	U	A	C	 競技大会における教育 (EBE)
<b>③サインフラッグ</b>   <p>■用途：アスリートのサインやアンチ・ドーピングのメッセージの記入、写真撮影に使用          ■仕様：W1200×H900mm          ■入手方法：2020年2月時点で加盟団体様へ各3枚送付済</p>		C	C	C	C	U	A	C	 競技大会における教育 (EBE)
<b>④横断幕</b>   <p>■用途：大会やイベント等でアスリートや観客の目に触れる場所に掲示          ■仕様：W3000×H900mm          ■入手方法：2020年2月時点で加盟団体様へ各1枚送付済</p>		C	C	C	C	U	A	C	 スポーツの 価値発信

# 2022年度教材・ツール一覧 202111ver.

(マテリアル一覧×入手方法)

✉ JADA 教育部：JADA-Education@playtruejapan.org

マテリアル	該当する 教育の4要素	JADA	JOC/JPC	NF					活用場面 ・ツール	
		JADA- RTP/TP	オリ・パラ 国際総合大会	強化対象	IF主催 国際大会出場	国内最高レベル 競技会出場	育成対象	サポート スタッフ		
⑤SNS   <b>#FairPride</b>	■用途：JADA公式Facebook、Twitter、Instagram にてアンチ・ドーピングに関する最新情報や啓発メッセージを確認 ※NFにて情報発信、スポーツの価値の発信をする際は、ぜひ「#FairPride」のハッシュタグ付けて発信ください！									 競技大会における教育 (EBE)  スポーツの価値発信
⑥ポスター  	■用途：大会やイベント等でアスリートや観客の目に触れる場所に掲示 ■仕様：A1/A2サイズ ■入手方法：2020年2月時点での盟団体様へ2種(A2サイズ)各3枚送付済。アウトリーチキットの1つとしてもお貸出し可能。 ■申請フォーム： <a href="https://www.playtruejapan.org/jada/form_outreach.html">https://www.playtruejapan.org/jada/form_outreach.html</a>									 競技大会における教育 (EBE)
⑦アウトリーチ用クイズ  	■用途：アウトリーチプログラム内で活用(シニア用とジュニア用の2種) ■仕様：ai及びpptデータ ■入手方法：JADA公式WEBサイトより申請 ■申請フォーム： <a href="https://www.playtruejapan.org/jada/form_outreach.html">https://www.playtruejapan.org/jada/form_outreach.html</a>		—	—	—	—				競技大会における教育 (EBE)
⑧CODE改定ポイント  	■用途：研修会等または、アスリート・サポートスタッフ自身にて2021CODEの主な変更点を確認可能 ■仕様：JADA アスリートサイト上の特設ページ ■アクセスURL： アスリートサイト： <a href="https://www.realchampion.jp/">https://www.realchampion.jp/</a>									 対面教育  教材



# 2022年度教材・ツール一覧 202111ver.

(マテリアル一覧×入手方法)

✉ JADA 教育部：JADA-Education@playtruejapan.org

マテリアル	該当する 教育の4要素	JADA	JOC/JPC	NF					活用場面 ・ ツール
		JADA- RTP/TP	オリ・パラ 国際総大会	強化対象	IF主催 国際大会出場	国内最高レベル 競技会出場	育成対象	サポート スタッフ	
<b>⑨アスリートガイド</b>  <p>■用途：世界アンチ・ドーピング規程の改定点をアスリート向けに解説（WADAが開発したガイドをJADAにて翻訳）          ■仕様：A4サイズ・28頁          ■入手方法：          アスリートサイトよりダウンロード可能          アスリートサイト：<a href="https://www.realchampion.jp/">https://www.realchampion.jp/</a></p>	 <p>啓発 情報提供 AD教育 価値教育</p>	C	C	C	C	U	A	—	 対面教育
<b>⑩アスリートサポートスタッフガイド</b>  <p>■用途：世界アンチ・ドーピング規程の改定点をアスリートサポートスタッフ向けに解説（WADAが開発したガイドをJADAにて翻訳）          ■仕様：A4サイズ・28頁          ■入手方法：          アスリートサイトよりダウンロード可能          アスリートサイト：<a href="https://www.realchampion.jp/">https://www.realchampion.jp/</a></p>	 <p>啓発 情報提供 AD教育 価値教育</p>	—	—	—	—	—	—	C	 教材   E-ラーニング
<b>⑪INFO Book</b>  <p>■用途：オリ・パラ派遣大会でのTUE申請、居場所情報提出の注意を確認          ■仕様：携帯用カードサイズ          ※オリ・パラ出場選手へ限定配布</p>	 <p>啓発 情報提供 AD教育 価値教育</p>	—	C オリ・パラ 出場選手へ 限定配布	—	—	—	—	C	 対面教育   教材
<b>⑫居場所情報は出ガイド</b>  <p>■用途：RTP/TP向けに、居場所情報のルールと、ADAMS及びAthlete Central（アプリ）を通じた居場所情報の提出・更新方法を解説          ■仕様：A4サイズ          ■入手方法：          アスリートサイトよりダウンロード可能          アスリートサイト：  <a href="https://www.realchampion.jp/process/adams">https://www.realchampion.jp/process/adams</a></p>	 <p>啓発 情報提供 AD教育 価値教育</p>	C	—	—	—	—	—	C	 教材

# 2022年度教材・ツール一覧 202111ver.

(マテリアル一覧×入手方法)

✉ JADA 教育部：JADA-Education@playtruejapan.org

マテリアル	該当する 教育の4要素	JADA	JOC/JPC	NF					活用場面 ・ ツール	
		JADA- RTP/TP	オリ・パラ 国際総合大会	強化対象	IF主催 国際大会出場	国内最高レベル 競技会出場	育成対象	サポート スタッフ		
⑬医療従事者 ポータル	■用途：医療従事者が禁止物質・方法やTUE申請について確認。TUE申請に必要な書類や医療従事者への情報提供用のリーフレットもダウンロード可能 ■医療従事者向けサイト： <a href="https://www.playtruejapan.org/medical-staff/">https://www.playtruejapan.org/medical-staff/</a>		—	—	—	—	—	C	 WEBサイト   教材	
⑭JADA公式 Webサイト	■用途：最新のアンチ・ドーピングに関する情報やJADAからのお知らせが確認できる公式サイト ■JADA公式Webサイト： <a href="https://www.playtruejapan.org/">https://www.playtruejapan.org/</a>		C	C	C	C	U	A		C
⑮アスリートサイト	■用途：アスリートやサポートスタッフに必要なスポーツの価値の考え方、知識やルールを分かりやすく解説。ルールや手続きの解説に加えて、学習するコンテンツを掲載 ■アスリートサイト： <a href="https://www.realchampion.jp/">https://www.realchampion.jp/</a> ※2021年度内にリニューアル予定		C	C	C	C	U	A		C
⑯新ガイドブック	■用途：最新のアンチ・ドーピング規程に基づくルールをアスリートが理解し、自身のクリーンスポーツ行動を取れるためのガイドブック（ナショナルレベルアスリート向け） ■仕様：A5サイズで制作中 ■入手方法：2021年度内、JADAより加盟団体へ一律配布。2022年度使用部数調査の上、発送予定		C	C	C	C	U	—	C	 対面教育   教材   E-ラーニング

# 2022年度教材・ツール一覧 202111ver.

(マテリアル一覧×入手方法)

✉ JADA 教育部：JADA-Education@playtruejapan.org

マテリアル		該当する 教育の4要素	JADA	JOC/JPC	NF					活用場面 ・ ツール
			JADA- RTP/TP	オリ・パラ 国際総合大会	強化対象	IF主催 国際大会出場	国内最高レベル 競技会出場	育成対象	サポート スタッフ	
⑰ ユース向け 新ガイドブック  新規制作中	<p>■用途：アスリートがアンチ・ドーピングの理念やクリーンスポーツの意義を理解し、最新のアンチ・ドーピング規程に基づき、ルールを学ぶためのガイドブック（ユースアスリート向け）</p> <p>■仕様：A5サイズで制作中</p> <p>■入手方法：2021年度内、JADAより加盟団体へ一律配布。2022年度使用部数調査の上、発送予定</p>		—	—	—	—	—	A	C	 対面教育   教材   E-ラーニング
⑱ クリーンスポーツ に参加する みんなの権利 	<p>■用途：アンチ・ドーピングにおけるアスリートの権利宣言の内容をイラスト付きで解説</p> <p>■仕様：A4サイズ・28頁</p> <p>■入手方法： アスリートサイトよりダウンロード可能 アスリートサイト：<a href="https://www.realchampion.jp/">https://www.realchampion.jp/</a></p>		C	C	C	C	U	A	C	
⑲ At-a-Glance 	<p>■用途：アンチ・ドーピングのルールをトピックスごとにポイントをまとめたアスリート向けガイド（WADAが開発したガイドをJADAにて翻訳） 現時点で、「アンチ・ドーピングについて」「治療使用特例」「競技者の居場所情報」の3種公開中</p> <p>■入手方法：ADELより閲覧可能 ADEL：<a href="https://adel.wada-ama.org/learn">https://adel.wada-ama.org/learn</a></p>		C	C	C	C	U	A	C	
⑳ WADA ADEL 	<p>■用途：WADA制作アンチ・ドーピングeラーニングシステムADEL。各教育対象に合わせたeラーニングコースを受講可能</p> <p>■利用方法： どなたでもアカウントを登録の上利用可能</p> <p>■ADEL：<a href="https://adel.wada-ama.org/learn">https://adel.wada-ama.org/learn</a></p>		C	C	C	C	U	A	C	

# 2022年度教材・ツール一覧 202111ver.

(マテリアル一覧×入手方法)

✉ JADA 教育部：JADA-Education@playtruejapan.org

マテリアル		該当する 教育の4要素	JADA	JOC/JPC	NF					活用場面 ・ ツール
			JADA- RTP/TP	オリ・パラ 国際総大会	強化対象	IF主催 国際大会出場	国内最高レベル 競技会出場	育成対象	サポート スタッフ	
②1 e-ラーニング FAIR PRIDE	■用途： JADA制作 eラーニングFAIR PRIDE。ナショナルレベルアスリートやRTP/TPに向けたeラーニングコースを受講可能 ■利用方法： アンチ・ドーピング教育活動の年間計画にて利用対象・人数を記載し、JADAへ利用申請。JADAより利用に必要な団体専用バスクードをご案内 ■FAIR PRIDE： <a href="https://www.playtruejapan.org/jada/e-learning.html">https://www.playtruejapan.org/jada/e-learning.html</a>	<div>啓発</div> <div>情報提供</div> <div>AD教育</div> <div>価値教育</div>	C	C	C	C	U	—	C	 E-ラーニング
②2 スタートアップ ガイド	■用途： アンチ・ドーピングのルールに初めて触れるユース向け、クリーンスポーツ入門 ■仕様： A4サイズ・両面・2頁 ■入手方法： 教育部宛にご連絡ください。	<div>啓発</div> <div>情報提供</div> <div>AD教育</div> <div>価値教育</div>	—	—	—	—	—	A	C	 競技大会 における教育 (EBE)
②3 マンガ検査手順	■用途： 将来ドーピング検査を受ける可能性のあるユースアスリートが検査手順を確認。シニアアスリートもいつでもチェック可能 ■仕様： A4サイズ※掲載のQRコードより動画も確認可能 ■入手方法： 教育部宛にご連絡ください。	<div>啓発</div> <div>情報提供</div> <div>AD教育</div> <div>価値教育</div>	C	C	C	C	U	A	C	 対面教育
②4 マンガ検査手順 (動画)	■用途： ドーピング検査の対象となるアスリートは誰でも検査手順を確認 ■仕様： 動画 ■入手方法： <a href="https://www.youtube.com/watch?v=UNb6-6saMAg">https://www.youtube.com/watch?v=UNb6-6saMAg</a>	<div>啓発</div> <div>情報提供</div> <div>AD教育</div> <div>価値教育</div>	C	C	C	C	U	A	C	 教材

# 2022年度教材・ツール一覧 202111ver.

(マテリアル一覧×入手方法)

✉ JADA 教育部：JADA-Education@playtruejapan.org

マテリアル		該当する 教育の4要素	JADA	JOC/JPC	NF					活用場面 ・ ツール
			JADA- RTP/TP	オリ・パラ 国際総合大会	強化対象	IF主催 国際大会出場	国内最高レベル 競技会出場	育成対象	サポート スタッフ	
<div>25</div> <div>FAIR PRIDE アスリート インタビュー</div> <div></div>	<div>■用途：ロールモデルとなるアスリートがアンチ・ドーピングやスポーツへの価値、自身の価値観を語るインタビュー教材</div> <div>■仕様：動画及びリーフレット（全5種類）</div> <div>■入手方法：JADA公式WEBサイトより視聴可能</div> <div>URL： <a href="https://www.realchampion.jp/fairprideinterview/index.html">https://www.realchampion.jp/fairprideinterview/index.html</a></div>	<div>啓発</div> <div>価値教育</div> <div>情報提供</div> <div>AD教育</div>	<div>C</div>	<div>C</div>	<div>C</div>	<div>C</div>	<div>U</div>	<div>A</div>	<div>C</div>	<div></div> <div>競技大会 における教育 (EBE)</div> <div></div> <div>対面教育</div> <div></div> <div>教材</div>
<div>26</div> <div>PLAY TRUE リレー</div> <div></div>	<div>■用途：国や競技、世代の異なる様々なアスリートたちによる、スポーツや人生を通して大切にしている自身の「TRUTH」についてのメッセージ</div> <div>■入手方法：PLAY TRUE 2020特設サイトより確認可能</div> <div>URL： <a href="https://www.playtrue2020sp4t.jp/ptrelay/jp/library/">https://www.playtrue2020sp4t.jp/ptrelay/jp/library/</a></div>	<div>啓発</div> <div>価値教育</div> <div>情報提供</div> <div>AD教育</div>	<div>C</div>	<div>C</div>	<div>C</div>	<div>C</div>	<div>U</div>	<div>A</div>	<div>C</div>	
<div>27</div> <div>スポーツの価値 をつなぐ</div> <div></div>	<div>■用途：「スポーツの価値」を学び、自分自身で「スポーツの価値」を考えるためのナビゲート動画</div> <div>■入手方法：</div> <div>URL： <a href="https://www.youtube.com/watch?v=6r8gN24FLX8&amp;t=8s">https://www.youtube.com/watch?v=6r8gN24FLX8&amp;t=8s</a></div>	<div>啓発</div> <div>価値教育</div> <div>情報提供</div> <div>AD教育</div>	<div>C</div>	<div>C</div>	<div>C</div>	<div>C</div>	<div>U</div>	<div>A</div>	<div>C</div>	
<div>28</div> <div>マンガムービー</div> <div></div>	<div>■用途：言葉では表現することが難しい「スポーツの価値」を考え、学ぶための、言葉に依拠しないマンガムービー（15本）</div> <div>■入手方法：</div> <div>URL <a href="https://www.youtube.com/user/JADAMovie/videos">https://www.youtube.com/user/JADAMovie/videos</a></div>	<div>啓発</div> <div>価値教育</div> <div>情報提供</div> <div>AD教育</div>	<div>C</div>	<div>C</div>	<div>C</div>	<div>C</div>	<div>U</div>	<div>A</div>	<div>C</div>	

# 2022年度教材・ツール一覧 202111ver.

(マテリアル一覧×入手方法)

✉ JADA 教育部：JADA-Education@playtruejapan.org

国際競技大会での教育で使用可能な英語  
(ノンバーバル・ユニバーサル適用) 教材については、  
以下サイトにてご確認ください

[https://playtrue2020-sp4t.jp/edu\\_package/](https://playtrue2020-sp4t.jp/edu_package/)



スポート庁 JADA Japan Sports Agency PLAY TRUE 2020 SPORT FOR TOMORROW Real Champion

Education Package Sign In Register

HOME What's Education Package? Application Process Lesson Plans Materials Case Examples Contact Us

**Real Champion Education Package**

For all generation, countries and regions.  
Education materials that are easy to use.

"Education Package" is composed of the materials  
both on the "values of sport" and "anti-doping rules".

Fair Sport Clean Sport

Mar.29, 2021 [NEW "Real Champion Education Package INTRO" Clip](#)

Jun.25, 2020 [NEW Materials \(Based on Rules\) are available, in line with the 2021 World Anti-Doping Code:](#)

Dec.04, 2019 [New Material and Case Example!](#)